

2023年3月30日

報道関係 各位

海を守る行動に関する調査2023

ひとりひとりの日常生活の変化が求められる課題だと思ふ SDGs テーマ

1位「つくる責任、つかう責任」

10代と40代では「海の豊かさを守ろう」が1位

「“エシカルなライフスタイル”はおしゃれ・かっこいいと憧れる」4割、
10代では約5割に

「エシカルな商品を買いたいのに、店頭になかったことがある」3割強

「エシカル消費は満足度が高いと感じる」4割半、10代女性では約6割

“エシカルなライフスタイル”が似合う芸能人

男性芸能人では1位「木村拓哉さん」2位「さかなクン」、

女性芸能人では1位「綾瀬はるかさん」2位「ローラさん」

「海（海洋環境）は危機に瀕していると思う」7割半

「海は自身にとって掛け替えのない存在」6割、

「自身のくらしに海の恵みは欠かせない」7割

「海を守りたいと思う」8割

「6月8日が“世界海洋デー”ということを知っている」19%

「マイクロプラスチック問題に危機感を覚える」約7割

マイクロプラスチック問題解決に関する行動意識や行動実態、見通しは？

「問題解決につながる行動を起こしたい」6割半、60代では約8割

「問題解決につながる行動を実践している」3割、50代では約4割

マイクロプラスチック問題は認知拡大が課題

マイクロプラスチック問題の原因として知っていること

「洗顔料や歯磨き粉に含まれるスクラブ剤」「合成繊維の衣類を洗濯すること」は
認知率が1割にとどまる

今後、普段のくらしに取り入れたい“海を守る行動”

「プラスチックを使わない商品やプラスチックごみが出ない商品を利用する」

「マイクロビーズが含まれていない商品を利用する」「ノンシリコン商品を利用する」が
TOP10にランクイン

“海”をテーマとしたサステナブルツーリズムで行きたい都道府県

1位「沖縄県」2位「北海道」3位「宮城県」

“海を守る”リーダーになってほしい芸能人

男性芸能人 TOP5 は「木村拓哉さん」「さかなクン」

「加山雄三さん」「伊藤英明さん」「城島茂さん」、

女性芸能人 TOP5 は「綾瀬はるかさん」「田中律子さん」

「広瀬すずさん」「橋本環奈さん」「石原さとみさん」

“海を守る行動”のきっかけになる映画・ドラマ

1位「海猿」2位「ONE PIECE」3位「タイタニック」

環境・社会・人に優しい製品を取り扱い、健康的なライフスタイルの提案を行っている『エシカミー』
(<https://ethicame.com/>) (運営会社：株式会社ピー・エス・インターナショナル、本社：東京都港区、代表取締役会長兼CEO 浜口 直太、代表取締役社長兼COO 北川 睦子) は、2023年3月7日～3月8日の2日間、全国の15歳～69歳の男女を対象に「海を守る行動に関する調査」を実施し、1,000名の有効サンプルを集計しました。(調査協力機関：ネットエイジア株式会社)

「SDGs」と「エシカルなライフスタイル」について

- 日本にとって喫緊の課題だと思うSDGsテーマ 1位「すべての人に健康と福祉を」
関心が高い・学びたい課題だと思うSDGsテーマ 2位「働きがいも経済成長も」、1位は？
- ひとりひとりの日常生活の変化が求められる課題だと思うSDGsテーマ 1位「つくる責任、つかう責任」
10代と40代では「海の豊かさを守ろう」が1位
- 既に取り組みに参加しているSDGsテーマ 1位「つくる責任、つかう責任」2位「海の豊かさを守ろう」
今後取り組みに参加したいSDGsテーマ 1位「住み続けられるまちづくりを」2位「つくる責任、つかう責任」
- 「“エシカルなライフスタイル”を日常生活に取り入れている」4割強、60代では約6割と突出
「“エシカルなライフスタイル”はおしゃれ・かっこいいと憧れる」4割、10代では約5割に
- 「エシカル消費を行ったことがある」4割強、60代では約6割と高い傾向
「エシカルな商品を買いたいのに、店頭になかったことがある」3割強
「エシカルな商品を買いたいのに、売り場がわからないことがある」4割強
- 「エシカル消費は満足度が高いと感じる」4割半、10代女性では約6割
「エシカルな商品を買うときは、値段が少し高くても気にならない」が最も多い年代は男女とも10代
- “エシカルなライフスタイル”が似合う芸能人
男性芸能人では1位「木村拓哉さん」2位「さかなクン」、
女性芸能人では1位「綾瀬はるかさん」2位「ローラさん」
- “エシカルなライフスタイル”が似合うアニメ・マンガキャラ 1位「ドラえもん」2位「モンキー・D・ルフィ」

「海を守る行動」について

- 「海（海洋環境）は危機に瀕していると思う」7割半
- 「海は自身にとって掛け替えのない存在」6割、「自身のくらしに海の恵みは欠かせない」7割
- 「美しい海を舞台にした素敵な思い出がある」4割強
- 「マリンスポーツが好き」2割半、10代では3割半
- 「美しい海の景色を楽しむ“海デート”が好き」60代男性では5割強、20代女性では5割半
- 「海を守りたいと思う」8割、素敵な思い出がある人や海デートが好きな人では9割以上に
- 「“海を守る行動”を積極的に日常生活に取り入れている」3割、マリンスポーツが好きな人では5割以上に
- 海の環境や海にくらす生物を守ろうと国連が定めた“世界海洋デー”の認知率は？
「6月8日が“世界海洋デー”ということを知っている」19%
- マイクロプラスチック問題を詳しく知っている人の割合は36%
- 「マイクロプラスチック問題に危機感を覚える」約7割、問題を詳しく知っている人では約9割に
- マイクロプラスチック問題解決に関する行動意識や行動実態、見通しは？
「問題解決につながる行動を起こしたい」6割半、60代では約8割
「問題解決につながる行動を実践している」3割、50代では約4割
「問題解決への道のりは非常に険しいと思う」7割強
「微生物の力の活用が問題解決につながると思う」6割半
- マイクロプラスチック問題は認知拡大が課題 マイクロプラスチック問題の原因として知っていること
「洗顔料や歯磨き粉に含まれるスクラブ剤」「合成繊維の衣類を洗濯すること」は認知率が1割にとどまる
- 海洋プラスチックごみ問題やマイクロプラスチック問題が引き起こす影響に対する認知率が低い傾向
「食物連鎖を通じてマイクロプラスチックに含まれる有害物質が人体に取り込まれる危険性がある」は2割未満

- 「歓迎・応援したい脱プラの取り組みがある」8割強、「プラスチックを使わない」取り組みを6割強が支持
歓迎・応援したい具体的な取り組みTOP5は「プラスチック製容器の回収」「プラスチック製容器のリサイクル利用」「容器やパッケージをラベルレスに」「プラスチック製レジ袋の廃止」「プラスチック製ストローの廃止」
- 普段のくらしの中で行っている“海を守る行動” 1位「ポイ捨てをしない」2位「マイバッグを利用する」
- 今後、普段のくらしに取り入れたい“海を守る行動” 「プラスチックを使わない商品やプラスチックごみが出ない商品を利用する」「マイクロビーズが含まれていない商品を利用する」「ノンシリコン商品を利用する」がTOP10にランクイン
- “海を守る行動”として重要度が特に高いと思う行動
4人に1人が「プラスチックを使わない商品やプラスチックごみが出ない商品を利用する」と回答
- “海を守る行動”に関する意識や考え
「修学旅行には“海を守る行動”に関連する教育プログラムを入れてほしい」6割強
「水族館で学ぶことは“海を守る行動”のきっかけになると思う」7割半
「サステナブルシーフードを提供する飲食店を応援したい」7割半
「海を守る取り組みを加速させるにはSDGsテックの進化が欠かせないと思う」7割半
「政府や自治体には“海を守る行動”をリードしてもらいたいと思う」8割強
- “海の恵み”の宝庫だと思う都道府県 「北海道」がダントツ、2位「沖縄県」3位「宮城県」
- “海”をテーマとしたサステナブルツーリズムで行きたい都道府県 1位「沖縄県」2位「北海道」3位「宮城県」
- “海”をテーマとした修学旅行の行き先に適していると思う都道府県 2位「北海道」、1位は？
- 100年後にも残したい、美しい海岸線や美しい浜辺、美しい海水浴場が多いと思う都道府県 1位「沖縄県」
- 美しい海の景色を楽しむ“海デート”で行きたいと思う都道府県 「沖縄県」がダントツ、2位「神奈川県」
- “海を守る”リーダーになってほしい芸能人
男性芸能人TOP5は「木村拓哉さん」「さかなクン」「加山雄三さん」「伊藤英明さん」「城島茂さん」、
女性芸能人TOP5は「綾瀬はるかさん」「田中律子さん」「広瀬すずさん」「橋本環奈さん」「石原さとみさん」
- “海を守る”リーダーになってほしいアスリート
男性アスリート1位「大谷翔平さん」、女性アスリート1位「池江璃花子さん」
- “海を守る”リーダーになってほしいアニメ・マンガのキャラクター 「モンキー・D・ルフィ」がダントツ
- “美しい海”の景色を楽しむ“海デート”をしたい芸能人
男性が選ぶ1位「広瀬すずさん」2位「浜辺美波さん」3位「新垣結衣さん」、
女性が選ぶ1位「木村拓哉さん」2位「佐藤健さん」3位「目黒蓮さん」
- “美しい海”の景色を楽しむ“海デート”をしたいアニメ・マンガのキャラクター
男性が選ぶ1位「ナミ」、女性が選ぶ1位「モンキー・D・ルフィ」
- “海を守る行動”のきっかけになる映画・ドラマ 1位「海猿」2位「ONE PIECE」3位「タイタニック」
10代では「タイタニック」、50代・60代では「ONE PIECE」が1位

報道関係の皆様へ

本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「エシカミー調べ」と付記のうえご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

本ニュースリリースに関する報道関係者のお問い合わせ先

株式会社ピー・エス・インターナショナル 担当：渡邊愛子、豊田勇輝

TEL：03-5484-3481 E-mail：press@ps-intl.co.jp

調査結果

「SDGs」と「エシカルなライフスタイル」について

- 日本にとって喫緊の課題だと思うSDGsテーマ 1位「すべての人に健康と福祉を」
関心が高い・学びたい課題だと思うSDGsテーマ 2位「働きがいも経済成長も」、1位は？
- ひとりひとりの日常生活の変化が求められる課題だと思うSDGsテーマ 1位「つくる責任、つかう責任」
10代と40代では「海の豊かさを守ろう」が1位

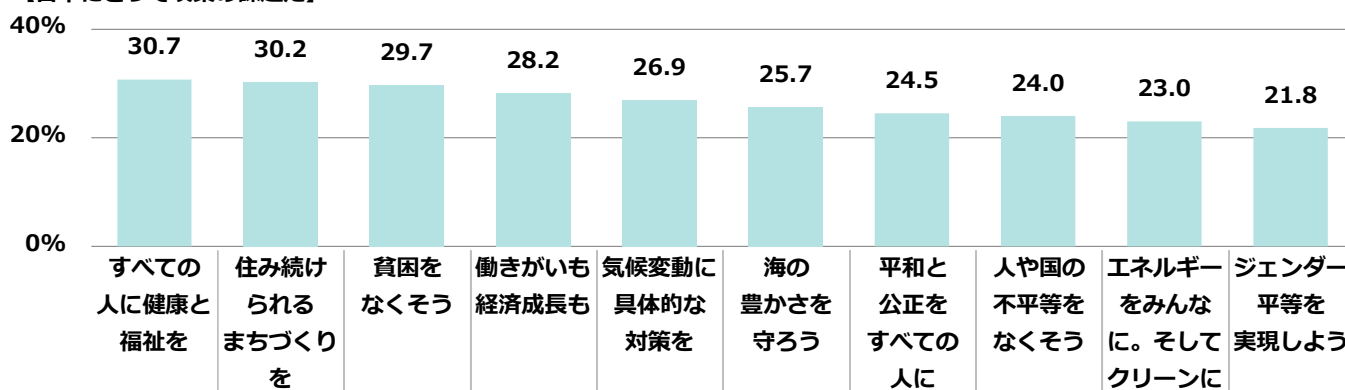
全国の15歳～69歳の男女1,000名（全回答者）に、“SDGs”（※）について質問しました。

※Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）：2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標を指し、17の目標（ゴール）が掲げられています。

まず、【日本にとって喫緊の課題だ】では、“SDGs”のどの目標（ゴール）が自身の考えとしてあてはまるか聞いたところ、「すべての人に健康と福祉を」（30.7%）が最も高くなりました。あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し福祉を促進することで、心身ともに健康で幸せな生活を送れるようになることを目指す目標が1位でした。次いで高くなったのは、「住み続けられるまちづくりを」（30.2%）、「貧困をなくそう」（29.7%）、「働きがいも経済成長も」（28.2%）、「気候変動に具体的な対策を」（26.9%）、「海の豊かさを守ろう」（25.7%）、「平和と公正をすべての人に」（24.5%）、「人や国の不平等をなくそう」（24.0%）、「エネルギーをみんなに。そしてクリーンに」（23.0%）、「ジェンダー平等を実現しよう」（21.8%）でした。

■自身の考えとして“SDGs”のどの目標（ゴール）にあてはまるか 【複数回答形式】 ※上位10位を表示

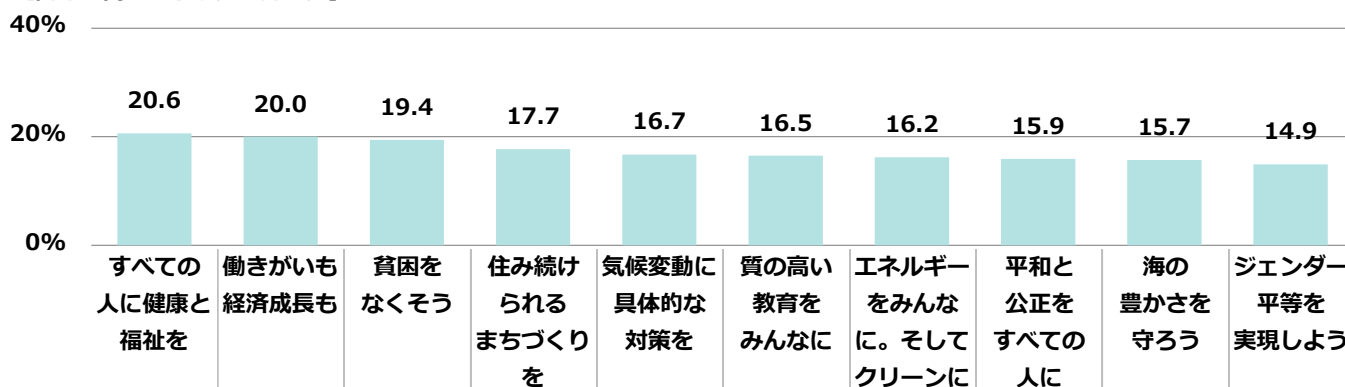
【日本にとって喫緊の課題だ】



【関心が高い・学びたい課題だ】では、「すべての人に健康と福祉を」（20.6%）が最も高くなり、「働きがいも経済成長も」（20.0%）、「貧困をなくそう」（19.4%）、「住み続けられるまちづくりを」（17.7%）、「気候変動に具体的な対策を」（16.7%）、「質の高い教育をみんなに」（16.5%）が続きました。

■自身の考えとして“SDGs”のどの目標（ゴール）にあてはまるか 【複数回答形式】 ※上位10位を表示

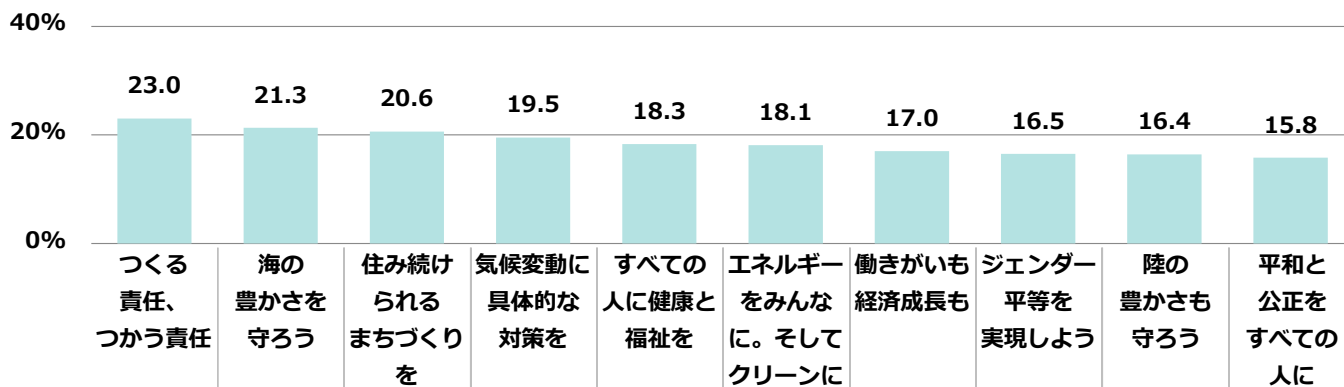
【関心が高い・学びたい課題だ】



【ひとりひとりの日常生活の変化が求められる課題だ】では、「つくる責任、つかう責任」（23.0%）が最も高くなり、「海の豊かさを守ろう」（21.3%）、「住み続けられるまちづくりを」（20.6%）、「気候変動に具体的な対策を」（19.5%）、「すべての人に健康と福祉を」（18.3%）、「エネルギーをみんなに。そしてクリーンに」（18.1%）が続きました。

■自身の考えとして“SDGs”のどの目標（ゴール）にあてはまるか 【複数回答形式】 ※上位10位を表示

【ひとりひとりの日常生活の変化が求められる課題だ】



年代別にみると、10代と40代では「海の豊かさを守ろう」（10代22.3%、40代23.2%）が1位、20代では「住み続けられるまちづくりを」と「ジェンダー平等を実現しよう」（いずれも17.5%）が同率1位でした。

■自身の考えとして“SDGs”のどの目標（ゴール）にあてはまるか 【複数回答形式】 ※上位10位を表示

【ひとりひとりの日常生活の変化が求められる課題だ】

n数		つくる責任、つかう責任	海の豊かさを守ろう	住み続けられるまちづくりを	気候変動に具体的な対策を	すべての人に健康と福祉を	エネルギーをみんなに。そしてクリーンに	働きがいも経済成長も	ジェンダー平等を実現しよう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に
全体	1000	23.0	21.3	20.6	19.5	18.3	18.1	17.0	16.5	16.4	15.8
年代	10代	166	22.3	21.1	15.1	18.1	15.7	17.5	19.3	19.3	16.3
	20代	166	16.9	10.8	17.5	15.1	9.6	16.9	17.5	8.4	9.6
	30代	168	23.2	22.0	19.6	21.4	19.6	20.2	17.9	17.9	15.5
	40代	168	21.4	23.2	17.3	18.5	19.6	19.0	11.3	16.1	14.9
	50代	166	24.1	22.9	21.7	19.3	19.3	15.7	21.7	15.1	18.7
	60代	166	30.7	26.5	26.5	27.7	23.5	21.1	19.9	13.3	19.3

*年代別の1位は水色塗り

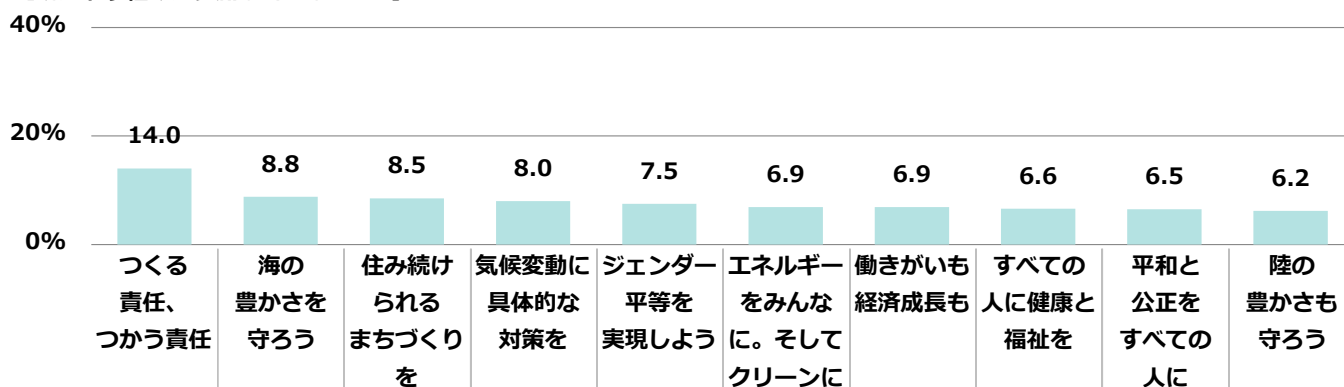
(%)

■ 既に取り組みに参加しているSDGsテーマ 1位「つくる責任、つかう責任」2位「海の豊かさを守ろう」
 今後取り組みに参加したいSDGsテーマ 1位「住み続けられるまちづくりを」2位「つくる責任、つかう責任」

また、【既に取り組みに参加しているSDGs】では、“SDGs”のどの目標（ゴール）が自身の状況としてあてはまるか聞いたところ、「つくる責任、つかう責任」（14.0%）が最も高くなりました。普段の生活でリサイクルやリユースを心がけたり、環境問題に配慮した行動をしたりするなど、持続可能な消費生産形態を確保するための取り組みを実践している人が多いようです。次いで高くなったのは、「海の豊かさを守ろう」（8.8%）、「住み続けられるまちづくりを」（8.5%）、「気候変動に具体的な対策を」（8.0%）、「ジェンダー平等を実現しよう」（7.5%）、「エネルギーをみんなに。そしてクリーンに」（6.9%）、「働きがいも経済成長も」（6.9%）、「すべての人に健康と福祉を」（6.6%）、「平和と公正をすべての人に」（6.5%）、「陸の豊かさを守ろう」（6.2%）でした。

■ 自身の状況として“SDGs”のどの目標（ゴール）にあてはまるか 【複数回答形式】 ※上位10位を表示

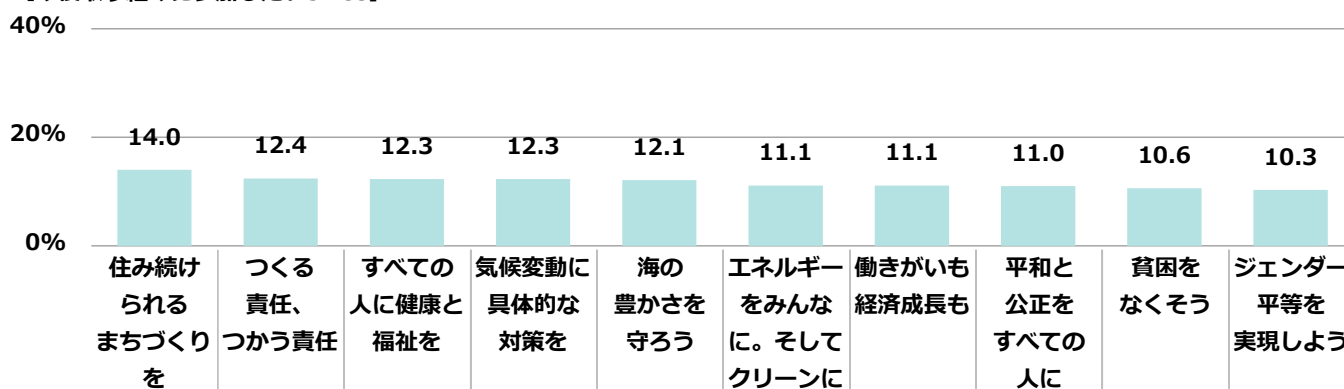
【既に取り組みに参加しているSDGs】



【今後取り組みに参加したいSDGs】では、「住み続けられるまちづくりを」（14.0%）が最も高くなり、「つくる責任、つかう責任」（12.4%）、「すべての人に健康と福祉を」「気候変動に具体的な対策を」（いずれも12.3%）、「海の豊かさを守ろう」（12.1%）が続きました。

■ 自身の状況として“SDGs”のどの目標（ゴール）にあてはまるか 【複数回答形式】 ※上位10位を表示

【今後取り組みに参加したいSDGs】

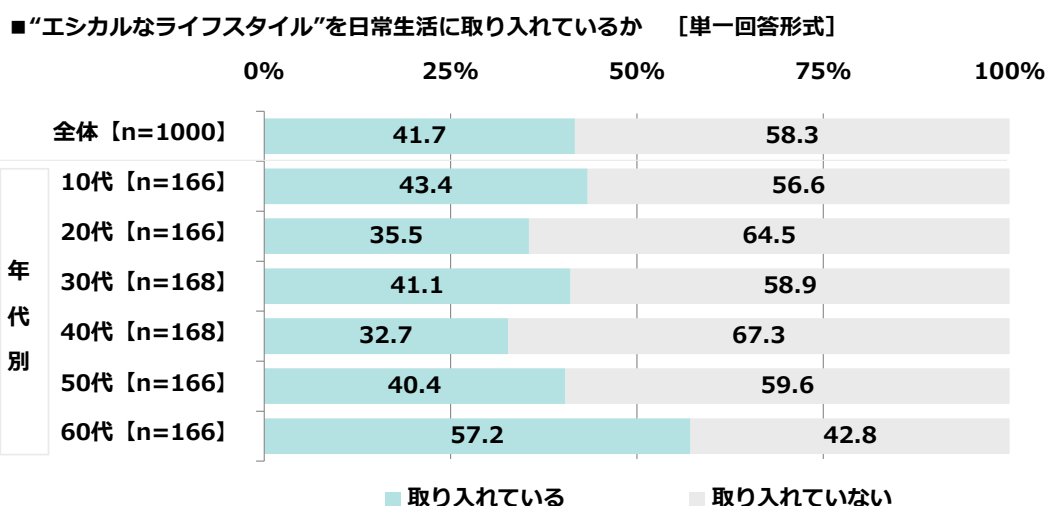


■「“エシカルなライフスタイル”を日常生活に取り入れている」4割強、60代では約6割と突出
 「“エシカルなライフスタイル”はおしゃれ・かっこいいと憧れる」4割、10代では約5割に

続いて、“エシカルなライフスタイル”について質問しました。エシカルなライフスタイルとは、環境・社会・人に配慮したライフスタイルを指します。

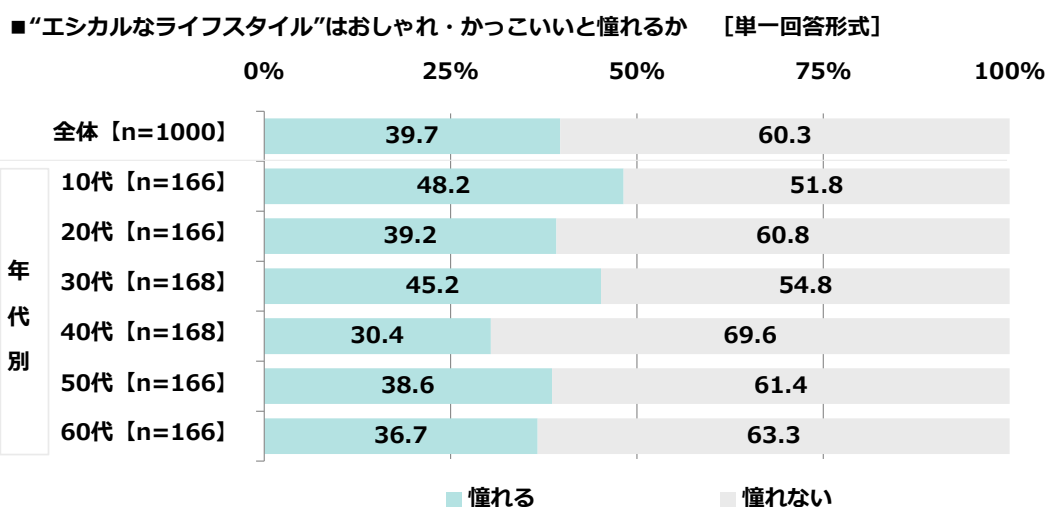
全回答者（1,000名）に、“エシカルなライフスタイル”を日常生活に取り入れているか聞いたところ、「取り入れている」は41.7%、「取り入っていない」は58.3%となりました。

年代別にみると、「取り入れている」と回答した人の割合は、60代（57.2%）が突出して高くなりました。



“エシカルなライフスタイル”はおしゃれ・かっこいいと憧れるか聞いたところ、「憧れる」は39.7%、「憧れない」は60.3%となりました。

年代別にみると、「憧れる」と回答した人の割合は、10代（48.2%）が最も高くなり、30代（45.2%）、20代（39.2%）が続きました。

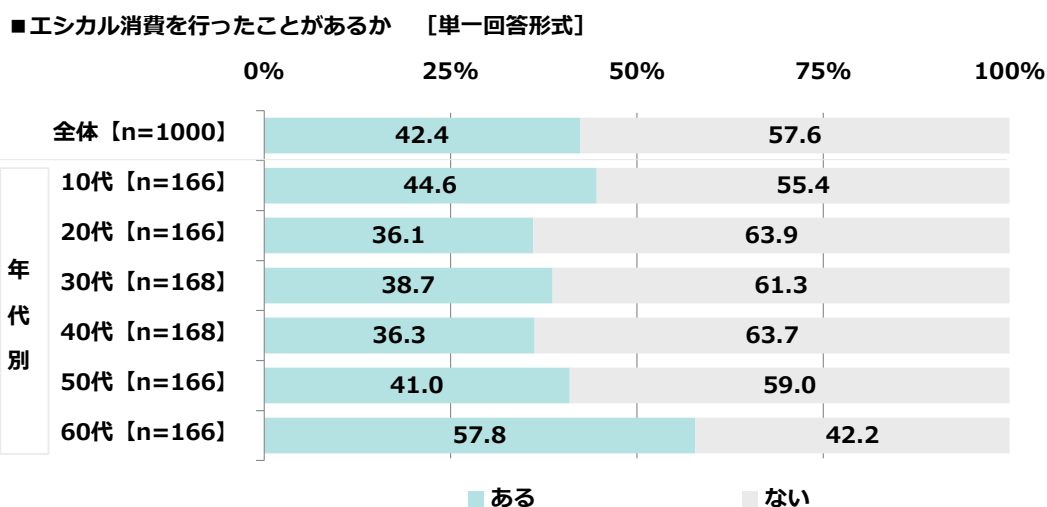


- 「エシカル消費を行ったことがある」4割強、60代では約6割と高い傾向
- 「エシカルな商品を買いたいのに、店頭になかったことがある」3割強
- 「エシカルな商品を買いたいのに、売り場がわからないことがある」4割強

次に、“エシカル消費”に関する経験や意識について質問しました。エシカル消費とは、環境・社会・人に配慮した消費行動のことをいいます。

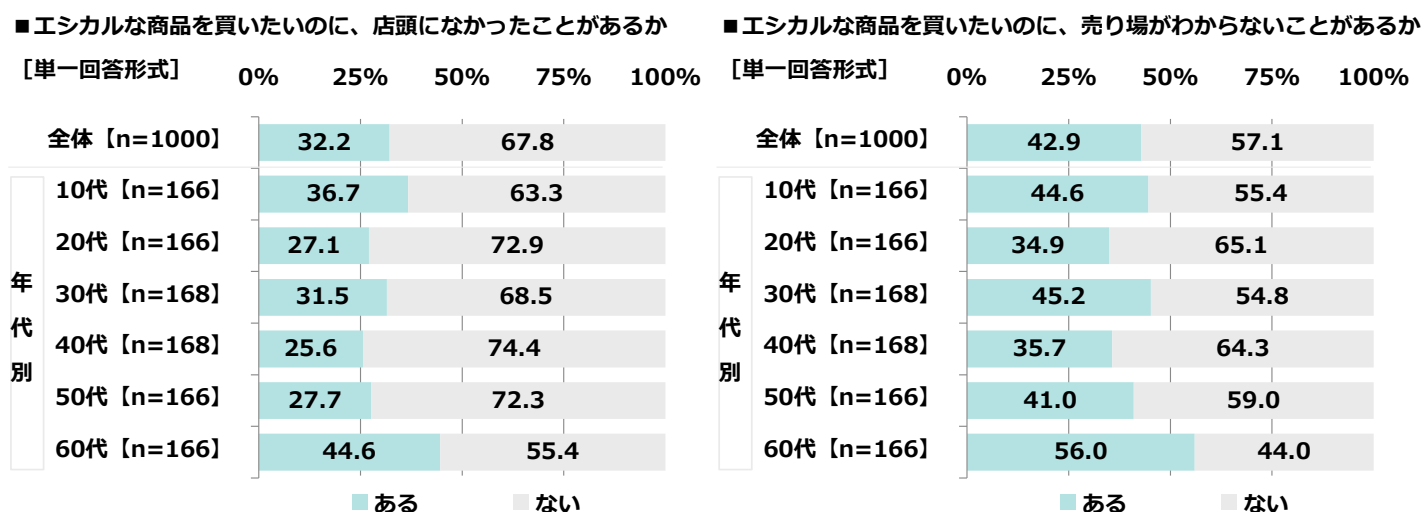
全回答者（1,000名）に、エシカル消費を行ったことがあるか聞いたところ、「ある」は42.4%、「ない」は57.6%となりました。環境・社会・人に配慮した商品の購入経験がある人は少なくないようです。

年代別にみると、「ある」と回答した人の割合が最も高くなったのは60代（57.8%）でした。



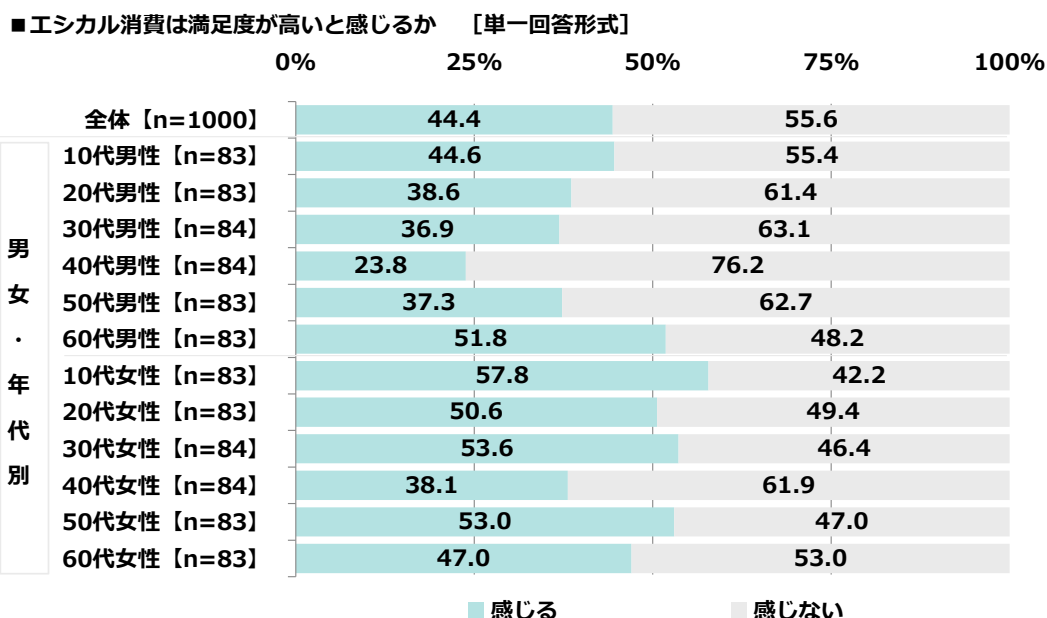
エシカルな商品を買いたいのに、店頭になかったことがあるか聞いたところ、「ある」は32.2%、「ない」は67.8%、エシカルな商品を買いたいのに、売り場がわからないことがあるか聞いたところ、「ある」は42.9%、「ない」は57.1%となりました。

年代別にみると、「ある」と回答した人の割合は、“店頭になかったことがある”と“売り場がわからないことがある”のいずれも60代（順に44.6%、56.0%）が最も高くなりました。



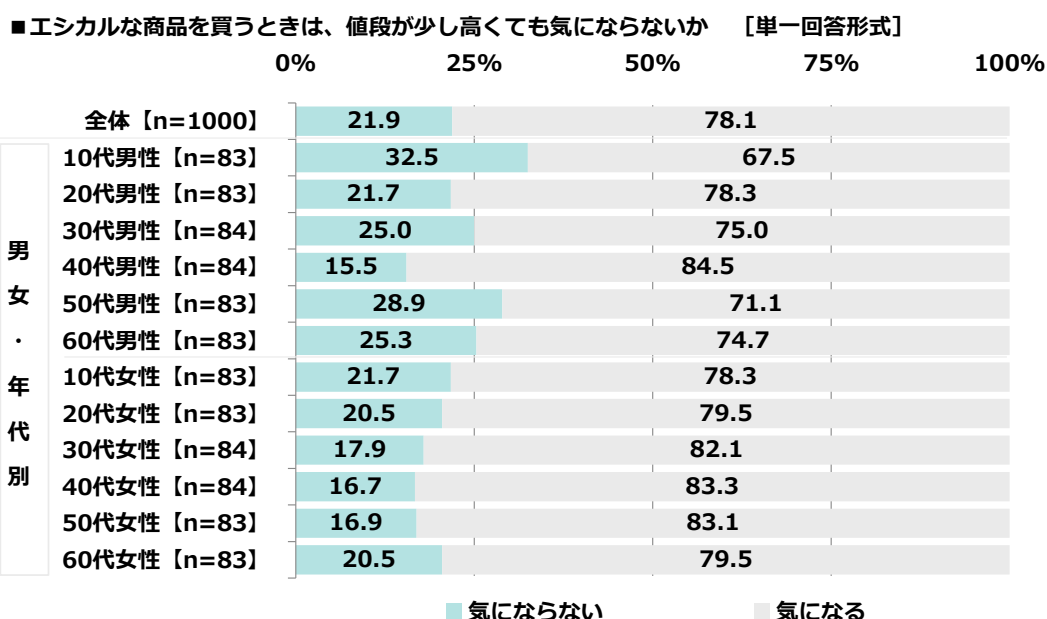
■ 「エシカル消費は満足度が高いと感じる」4割半、10代女性では約6割
 「エシカルな商品を買うときは、値段が少し高くても気にならない」が最も多い年代は男女とも10代

エシカル消費は満足度が高いと感じるか聞いたところ、「感じる」は44.4%、「感じない」は55.6%となりました。男女・年代別にみると、「感じる」と回答した人の割合は、10代女性（57.8%）が最も高くなり、30代女性（53.6%）、50代女性（53.0%）が続きました。



また、エシカルな商品を買うときは、値段が少し高くても気にならないか聞いたところ、「気にならない」は21.9%、「気になる」は78.1%となりました。

男女・年代別にみると、「気にならない」と回答した人の割合は男女とも10代が最も高く、10代男性では32.5%、10代女性では21.7%でした。



■“エシカルなライフスタイル”が似合う芸能人

男性芸能人では1位「木村拓哉さん」2位「さかなクン」、
女性芸能人では1位「綾瀬はるかさん」2位「ローラさん」

■“エシカルなライフスタイル”が似合うアニメ・マンガキャラ 1位「ドラえもん」2位「モンキー・D・ルフィ」

全回答者(1,000名)に、“エシカルなライフスタイル”をテーマにイメージに合う芸能人やキャラクターを聞きました。

【“エシカルなライフスタイル”が似合う男性芸能人】では「木村拓哉さん」（38名）がダントツとなり、2位「さかなクン」（12名）、3位「福山雅治さん」（11名）、4位「反町隆史さん」（9名）、5位「ヒロシさん」「阿部寛さん」（いずれも7名）が続きました。

他方、【“エシカルなライフスタイル”が似合う女性芸能人】では1位「綾瀬はるかさん」（25名）、2位「ローラさん」（19名）、3位「フワちゃん」（13名）、4位「新垣結衣さん」（12名）、5位「アンミカさん」「柴咲コウさん」（いずれも9名）となりました。

■“エシカルなライフスタイル”が似合う男性芸能人

【自由回答形式】 ※上位10位を表示

	全体【n=1000】	名
1位	木村拓哉	38
2位	さかなクン	12
3位	福山雅治	11
4位	反町隆史	9
5位	ヒロシ 阿部寛	7 7
	加山雄三 / 佐藤健 / 春日俊彰 /	
7位	所ジョージ / 松本人志 / 櫻井翔	5

■“エシカルなライフスタイル”が似合う女性芸能人

【自由回答形式】 ※上位10位を表示

	全体【n=1000】	名
1位	綾瀬はるか	25
2位	ローラ	19
3位	フワちゃん	13
4位	新垣結衣	12
5位	アンミカ 柴咲コウ	9 9
	杏	8
7位	浜辺美波 有村架純	8 8
10位	橋本環奈 / 工藤静香 / 北川景子	7

また、【“エシカルなライフスタイル”が似合うアニメ・マンガのキャラクター】では1位「ドラえもん（ドラえもん）」（52名）、2位「モンキー・D・ルフィ（ONE PIECE）」（40名）、3位「江戸川コナン（名探偵コナン）」（17名）、4位「フグ田サザエ（サザエさん）」（16名）、5位「鼈門炭治郎（鬼滅の刃）」（10名）となりました。

■“エシカルなライフスタイル”が似合うアニメ・マンガのキャラクター

【自由回答形式】 ※上位10位を表示

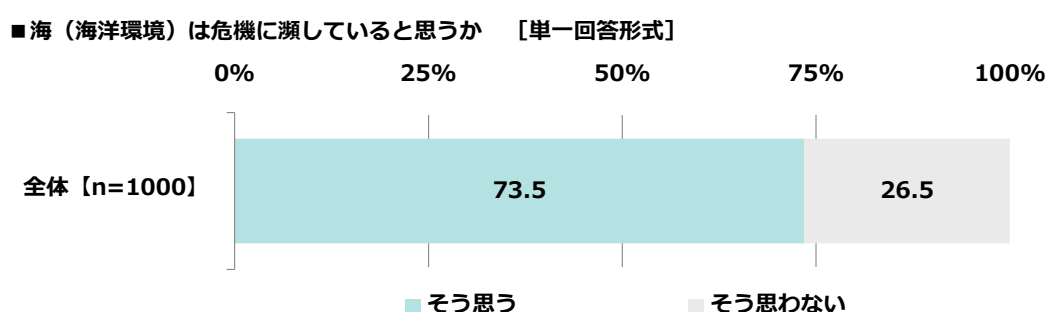
	全体【n=1000】	名
1位	ドラえもん（ドラえもん）	52
2位	モンキー・D・ルフィ（ONE PIECE）	40
3位	江戸川コナン（名探偵コナン）	17
4位	フグ田サザエ（サザエさん）	16
5位	鼈門炭治郎（鬼滅の刃）	10
6位	アンパンマン（それいけ！アンパンマン）	9
	サンジ（ONE PIECE）	6
7位	ムーミントロール（ムーミン谷のなかまたち）	6
	野比のび太（ドラえもん）	6
10位	さくらももこ（ちびまる子ちゃん）	5

「海を守る行動」について

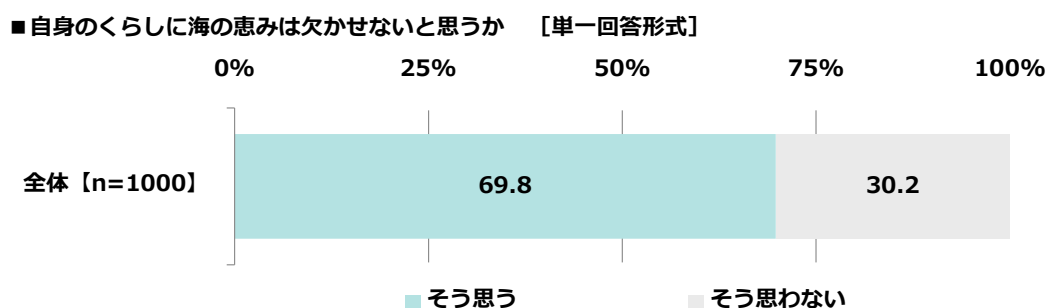
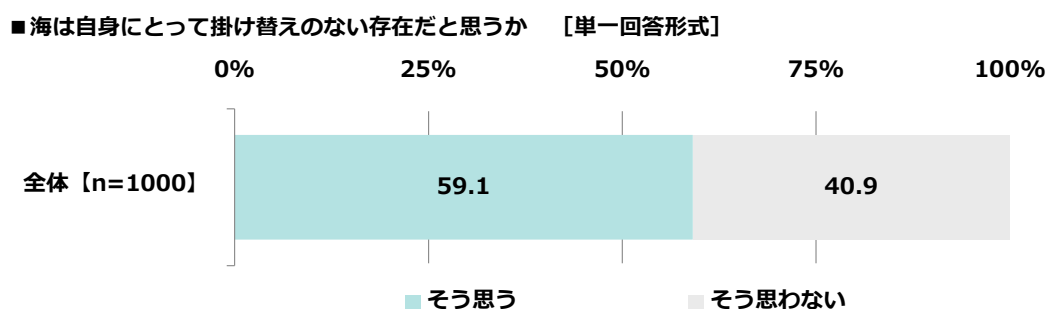
- 「海（海洋環境）は危機に瀕していると思う」 7割半
- 「海は自身にとって掛け替えのない存在」 6割、「自身の暮らしに海の恵みは欠かせない」 7割

海に関する意識や経験、海を守るための行動について質問しました。

全回答者（1,000名）に、海（海洋環境）は危機に瀕していると思うか聞いたところ、「そう思う」は73.5%、「そう思わない」は26.5%となりました。大多数の人が、海洋汚染の深刻化など、海洋環境が危機的な状況にあると感じているようです。



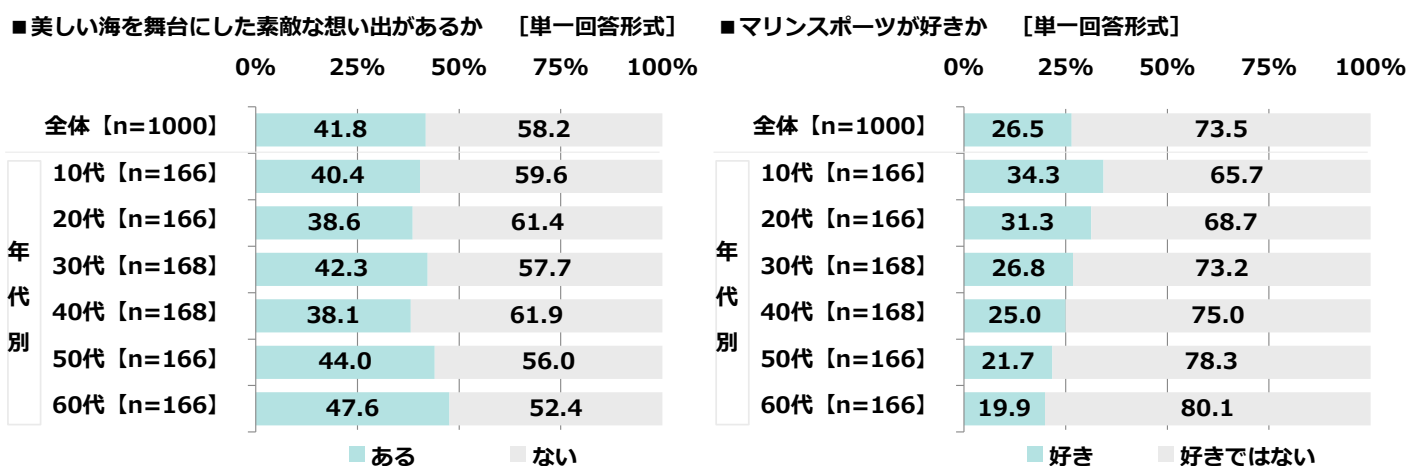
また、海に関する意識について聞いたところ、【海は自身にとって掛け替えのない存在だと思うか】では「そう思う」は59.1%、「そう思わない」は40.9%、【自身の暮らしに海の恵みは欠かせないと思うか】では「そう思う」は69.8%、「そう思わない」は30.2%となりました。



- 「美しい海を舞台にした素敵な思い出がある」4割強
- 「マリンスポーツが好き」2割半、10代では3割半
- 「美しい海の景色を楽しむ“海デート”が好き」60代男性では5割強、20代女性では5割半

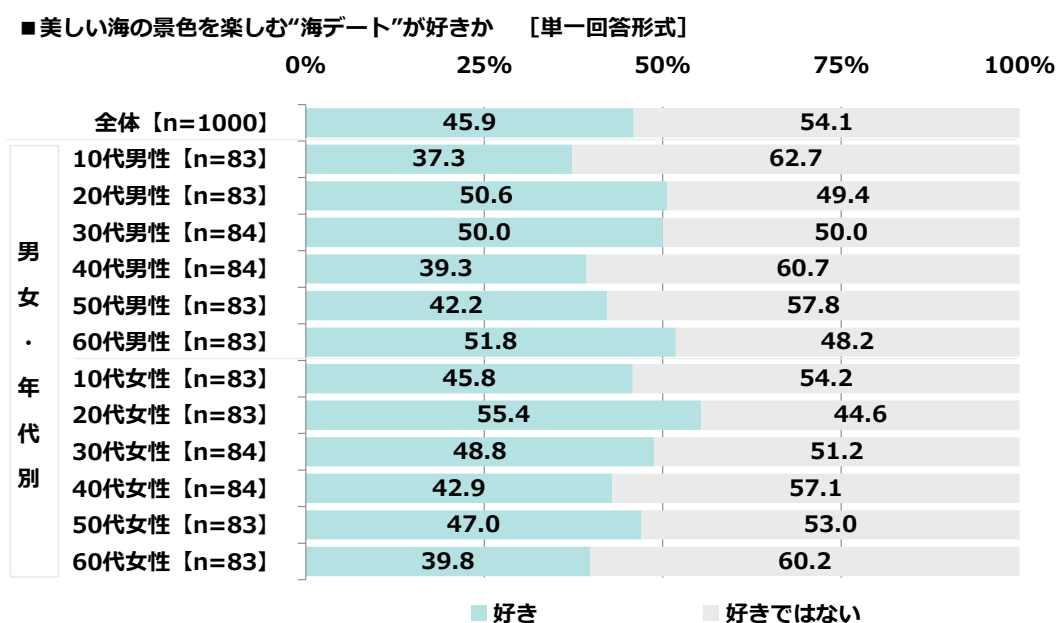
美しい海を舞台にした素敵な思い出があるか聞いたところ、「ある」は41.8%、「ない」は58.2%となりました。年代別にみると、「ある」と回答した人の割合は、60代（47.6%）が最も高くなり、50代（44.0%）、30代（42.3%）が続きました。

マリンスポーツが好きか聞いたところ、「好き」は26.5%、「好きではない」は73.5%となりました。年代別にみると、「好き」と回答した人の割合は若年層ほど高くなり、10代では34.3%でした。



また、美しい海の景色を楽しむ“海デート”が好きか聞いたところ、「好き」は45.9%、「好きではない」は54.1%となりました。美しい海を眺めながら、パートナーと楽しい時間を過ごしたいと思う人は少なくないようです。

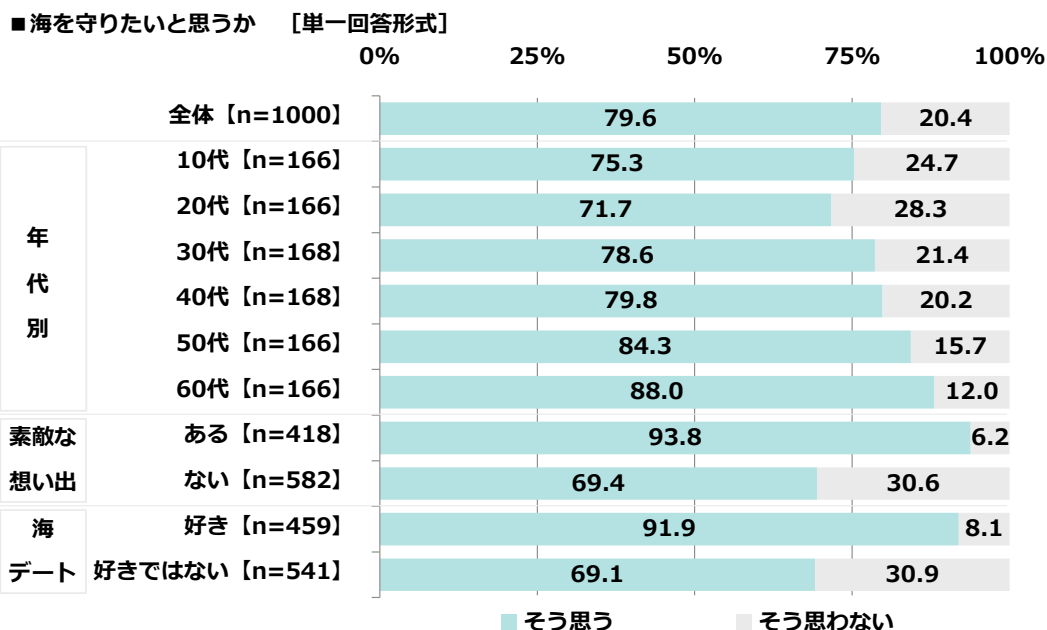
男女・年代別にみると、「好き」と回答した人の割合は、男性では60代（51.8%）、女性では20代（55.4%）が最も高くなりました。



- 「海を守りたいと思う」8割、素敵な思い出がある人や海デートが好きな人では9割以上に
- 「“海を守る行動”を積極的に日常生活に取り入れている」3割、マリンスポーツが好きな人では5割以上に

海を守りたいと思うか聞いたところ、「そう思う」は79.6%、「そう思わない」は20.4%となりました。“海を守る”とは“海の豊かさを守る（水産資源の枯渇を防ぐ、海の汚染を防ぐなど）”ことをいいます。大多数の人が、海洋環境を保全し、掛け替えのない海を大切にしていきたいと考えていることがわかりました。

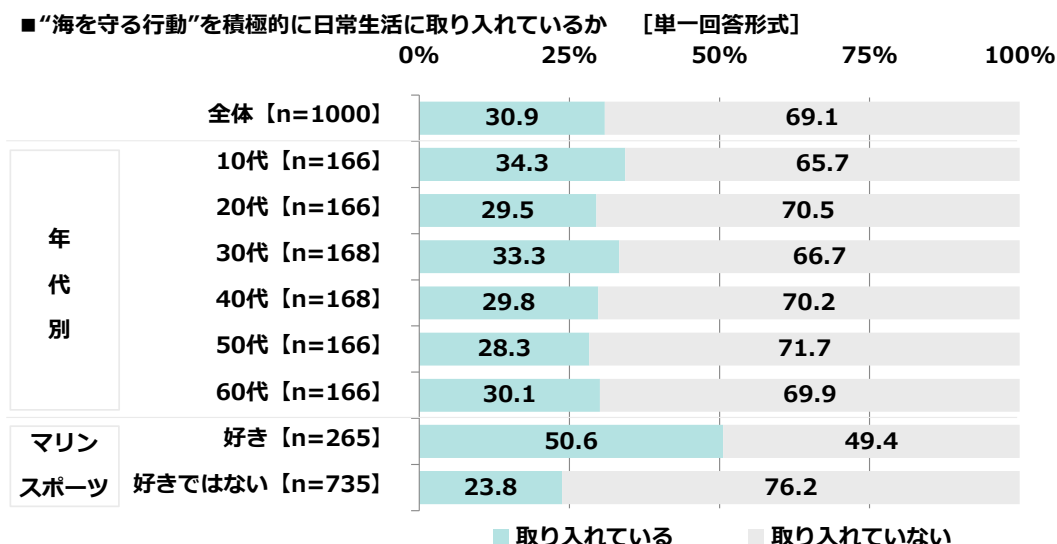
美しい海を舞台にした素敵な思い出がある人（418名）では「そう思う」は93.8%、海デートが好きな人（459名）では「そう思う」は91.9%となりました。



“海を守る行動”を積極的に日常生活に取り入れているか聞いたところ、「取り入れている」は30.9%、「取り入っていない」は69.1%となりました。

年代別にみると、「取り入れている」と回答した人の割合は、10代（34.3%）が最も高くなり、30代（33.3%）、60代（30.1%）が続きました。

また、マリンスポーツが好きな人（265名）では、「取り入れている」と回答した人の割合は50.6%と半数を超えました。



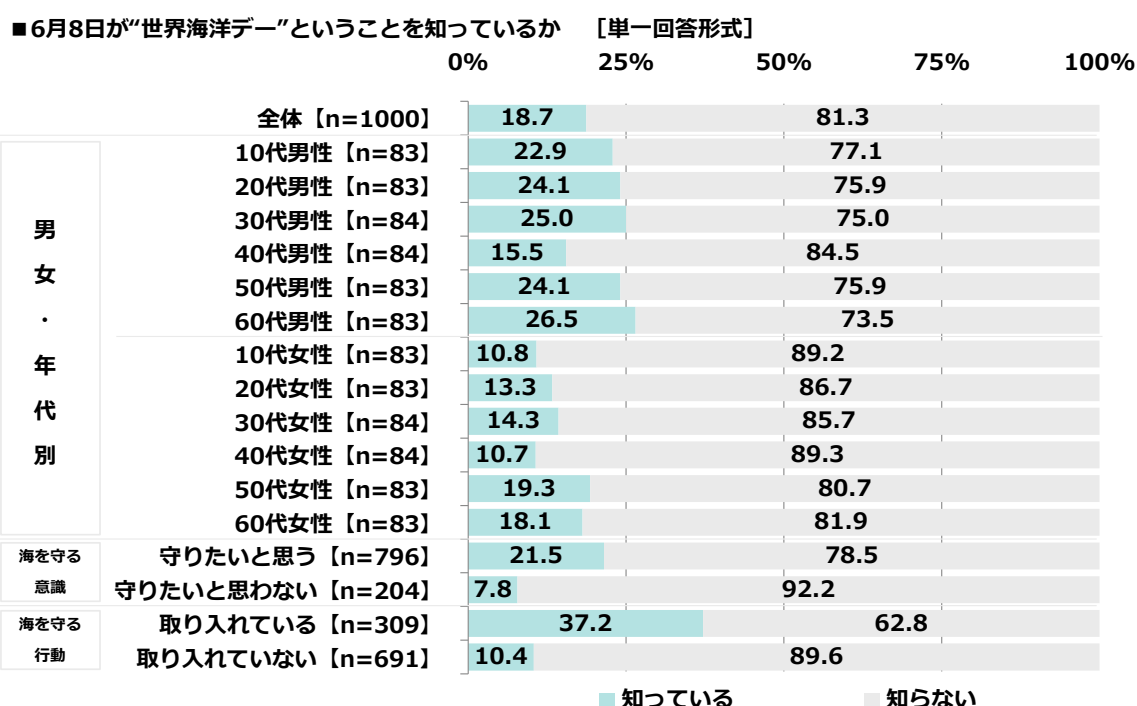
■海の世界環境や海にくらす生物を守ろうと国連が定めた“世界海洋デー”の認知率は？ 「6月8日が“世界海洋デー”ということを知っている」19%

海に関する記念日の1つである“世界海洋デー”について質問しました。

全回答者（1,000名）に、6月8日が“世界海洋デー”ということを知っているか聞いたところ、「知っている」は18.7%、「知らない」は81.3%となりました。“世界海洋デー”は、海の役割や海を守る方法についての認識を高めることを目的に、2008年の国連総会で制定されました。この記念日について知っている人は少数派のようです。

男女・年代別にみると、「知っている」と回答した人の割合が最も高くなったのは60代男性（26.5%）、最も低くなったのは40代女性（10.7%）でした。

また、海を守ることの意識や状況別にみると、「知っている」と回答した人の割合は、海を守りたいと思う人（796名）では21.5%、海を守る行動を積極的に日常生活に取り入れている人（309名）では37.2%となりました。

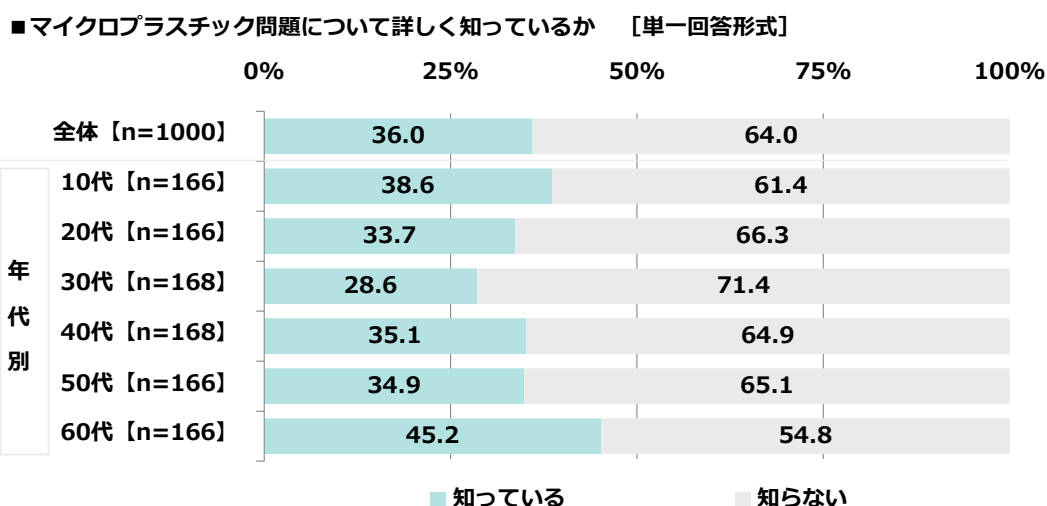


- マイクロプラスチック問題を詳しく知っている人の割合は36%
- 「マイクロプラスチック問題に危機感を覚える」約7割、問題を詳しく知っている人では約9割に

マイクロプラスチック問題について質問しました。マイクロプラスチック問題とは、マイクロプラスチック（5mm以下のプラスチック）による環境問題（海の汚染など）のことをいいます。

全回答者（1,000名）に、マイクロプラスチック問題について詳しく知っているか聞いたところ、「知っている」は36.0%、「知らない」は64.0%となりました。

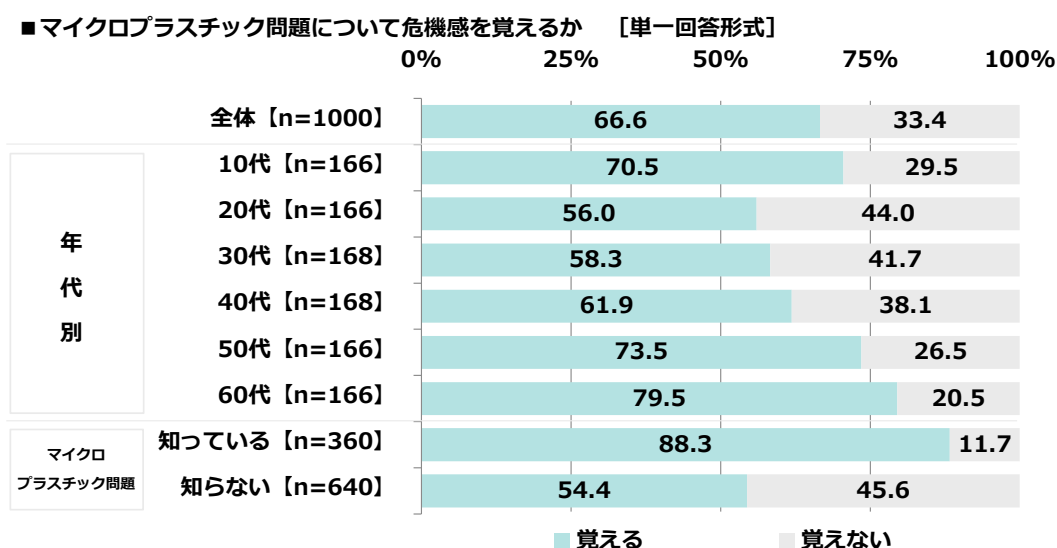
年代別にみると、「知っている」と回答した人の割合が最も高くなったのは60代（45.2%）、最も低くなったのは30代（28.6%）でした。



マイクロプラスチック問題について危機感を覚えるか聞いたところ、「覚える」は66.6%、「覚えぬい」は33.4%となりました。海洋汚染の原因となるマイクロプラスチックの危険性に懸念を抱いている人は多いようです。

年代別にみると、「覚える」と回答した人の割合は、60代（79.5%）が最も高くなり、50代（73.5%）、10代（70.5%）が続きました。

また、マイクロプラスチック問題について詳しく知っている人（360名）では、「覚える」と回答した人の割合は88.3%でした。



■ マイクロプラスチック問題解決に関する行動意識や行動実態、見通しは？

「問題解決につながる行動を起こしたい」6割半、60代では約8割

「問題解決につながる行動を実践している」3割、50代では約4割

「問題解決への道のりは非常に険しいと思う」7割強

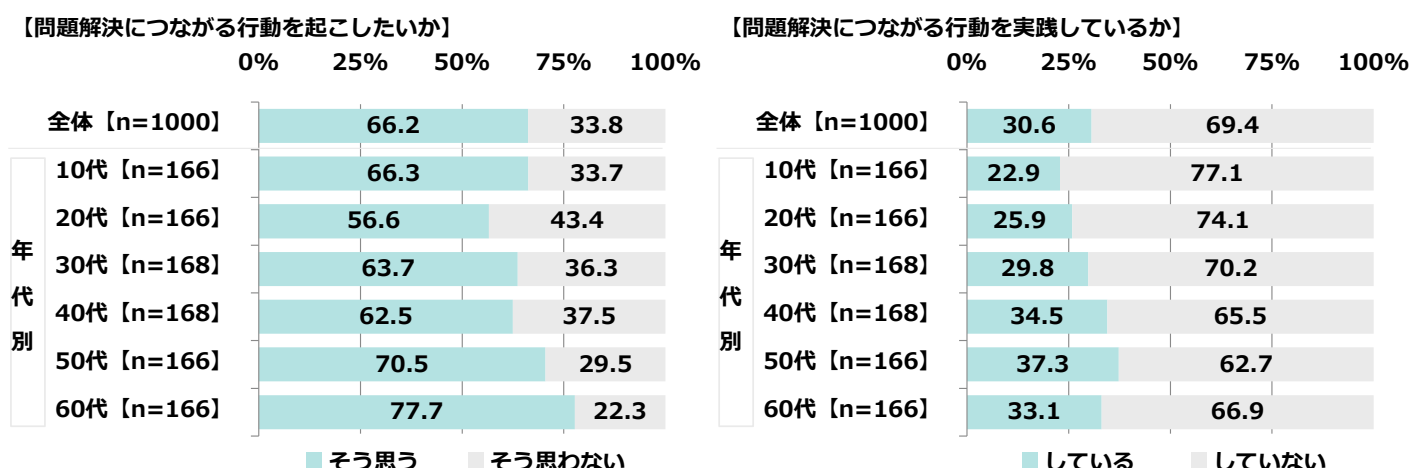
「微生物の力の活用が問題解決につながると思う」6割半

全回答者（1,000名）に、マイクロプラスチック問題解決に関する行動意識や行動実態、予測・見通しを聞きました。

【問題解決につながる行動を起こしたいか】では「そう思う」は66.2%、【問題解決につながる行動を実践しているか】では「している」は30.6%となりました。問題解決に向け多くの人が行動を起こしたいと思っはいるものの、実際に行動に移せている人は少数派のようです。

年代別にみると、問題解決につながる行動を起こしたいと思う人の割合が最も高くなったのは60代（77.7%）、問題解決につながる行動を実践している人の割合が最も高くなったのは50代（37.3%）でした。

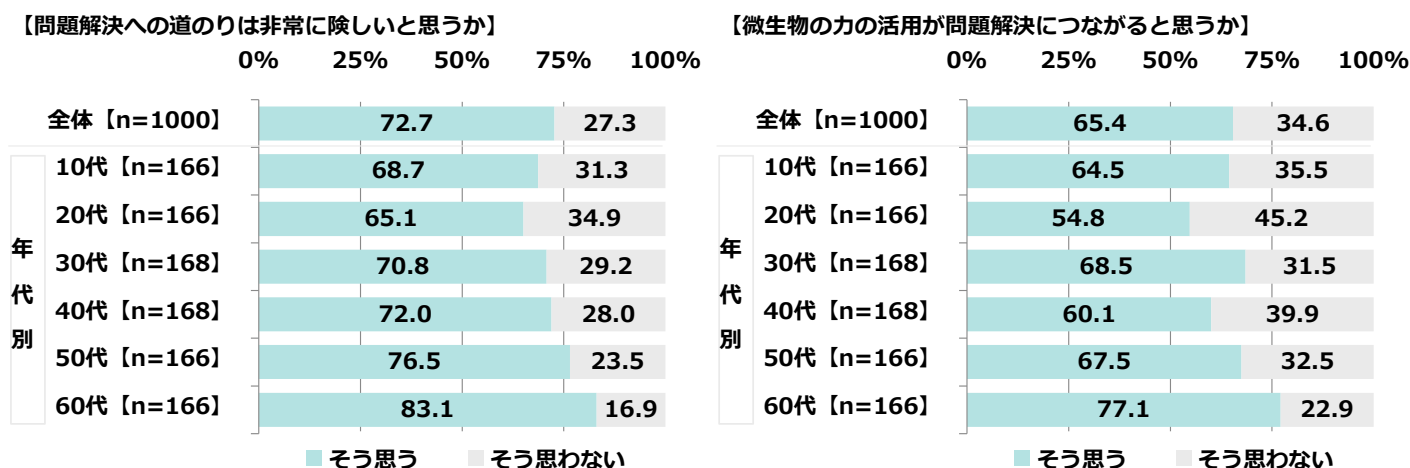
■ マイクロプラスチック問題に関する意識・実態 [単一回答形式] ■ マイクロプラスチック問題に関する意識・実態 [単一回答形式]



【問題解決への道のりは非常に険しいと思うか】では「そう思う」は72.7%となりました。問題を解決するためには、超えるべきハードルがいくつもあると感じている人が多いのではないのでしょうか。

【微生物の力の活用が問題解決につながると思うか】では「そう思う」は65.4%となりました。

■ マイクロプラスチック問題に関する意識・実態 [単一回答形式] ■ マイクロプラスチック問題に関する意識・実態 [単一回答形式]

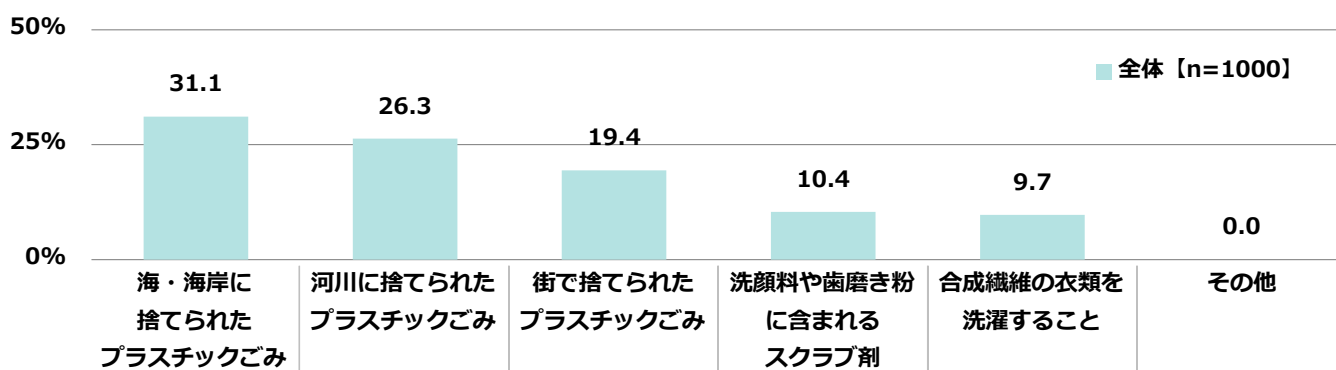


- **マイクロプラスチック問題は認知拡大が課題** マイクロプラスチック問題の原因として知っていること「洗顔料や歯磨き粉に含まれるスクラブ剤」「合成繊維の衣類を洗濯すること」は認知率が1割にとどまる
- **海洋プラスチックごみ問題やマイクロプラスチック問題が引き起こす影響に対する認知率が低い傾向**「食物連鎖を通じてマイクロプラスチックに含まれる有害物質が人体に取り込まれる危険性がある」は2割未満

続いて、マイクロプラスチック問題の原因、海洋プラスチックごみ問題やマイクロプラスチック問題がもたらす影響について質問しました。

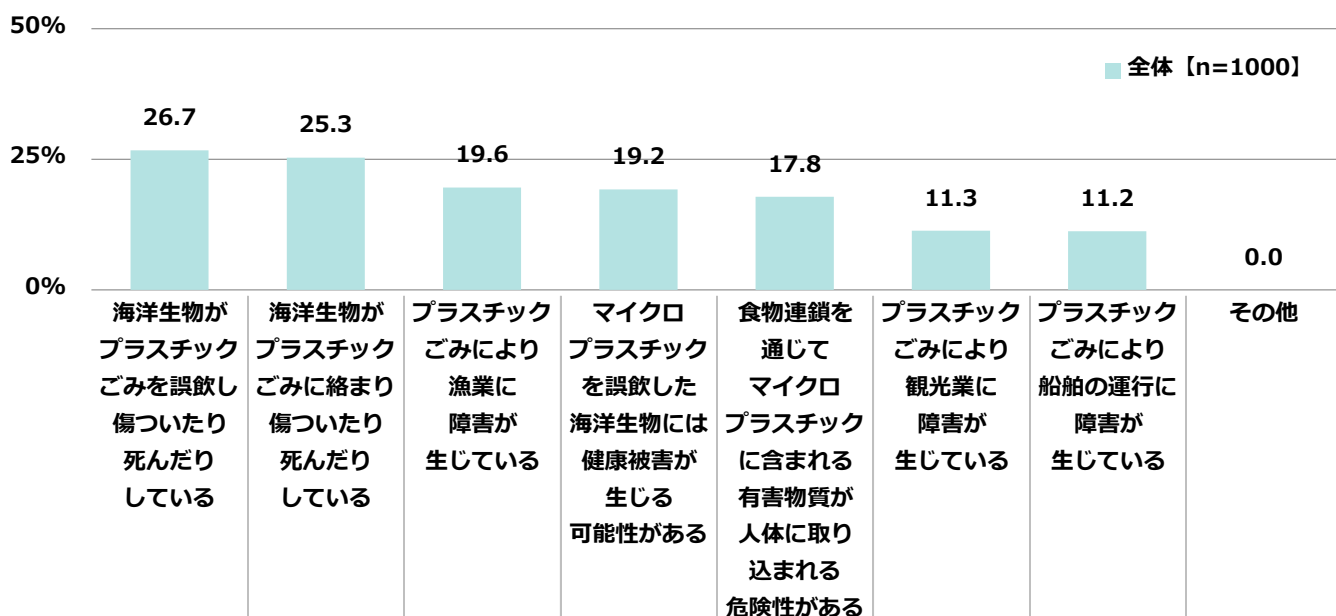
全回答者（1,000名）に、マイクロプラスチック問題の原因として知っていることを聞いたところ、「海・海岸に捨てられたプラスチックごみ」は31.1%、「河川に捨てられたプラスチックごみ」は26.3%、「街で捨てられたプラスチックごみ」は19.4%となり、「洗顔料や歯磨き粉に含まれるスクラブ剤」（10.4%）や「合成繊維の衣類を洗濯すること」（9.7%）は1割にとどまりました。

■ **マイクロプラスチック問題の原因として知っていること** 【複数回答形式】



また、海洋プラスチックごみ問題やマイクロプラスチック問題が引き起こす影響として知っていることを聞いたところ、「海洋生物がプラスチックごみを誤飲し傷ついたり死んだりしている」は26.7%、「海洋生物がプラスチックごみに絡まり傷ついたり死んだりしている」は25.3%となり、「マイクロプラスチックを誤飲した海洋生物には健康被害が生じる可能性がある」（19.2%）や「食物連鎖を通じてマイクロプラスチックに含まれる有害物質が人体に取り込まれる危険性がある」（17.8%）は2割未満にとどまりました。

■ **海洋プラスチックごみ問題やマイクロプラスチック問題が引き起こす影響として知っていること** 【複数回答形式】



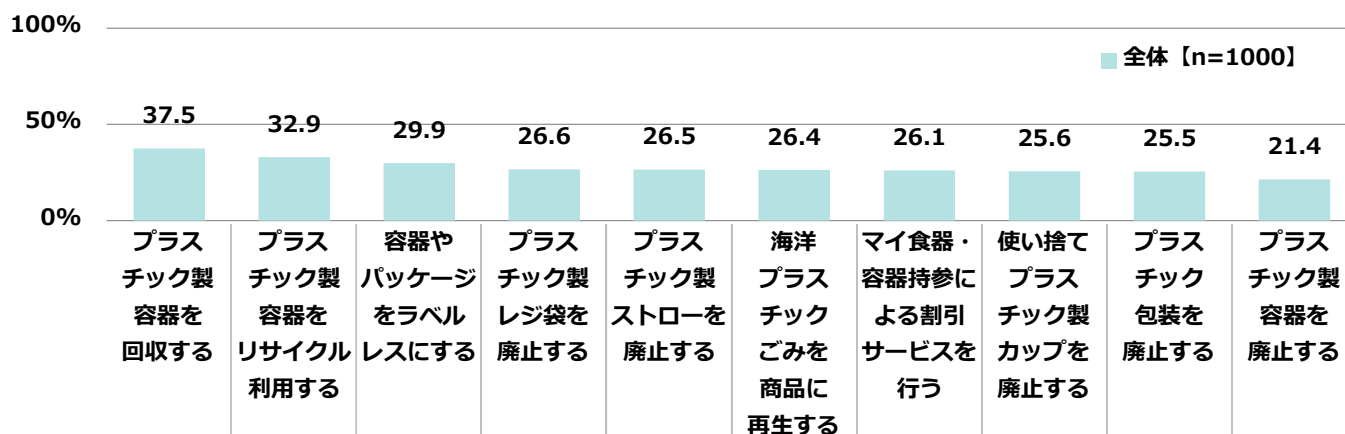
■「歓迎・応援したい脱プラの取り組みがある」8割強、「プラスチックを使わない」取り組みを6割強が支持
 歓迎・応援したい具体的な取り組みTOP5は「プラスチック製容器の回収」「プラスチック製容器のリサイクル利用」「容器やパッケージをラベルレスに」「プラスチック製レジ袋の廃止」「プラスチック製ストローの廃止」

プラスチック製品の利用を制限する動きである“脱プラスチック（脱プラ）”について質問しました。

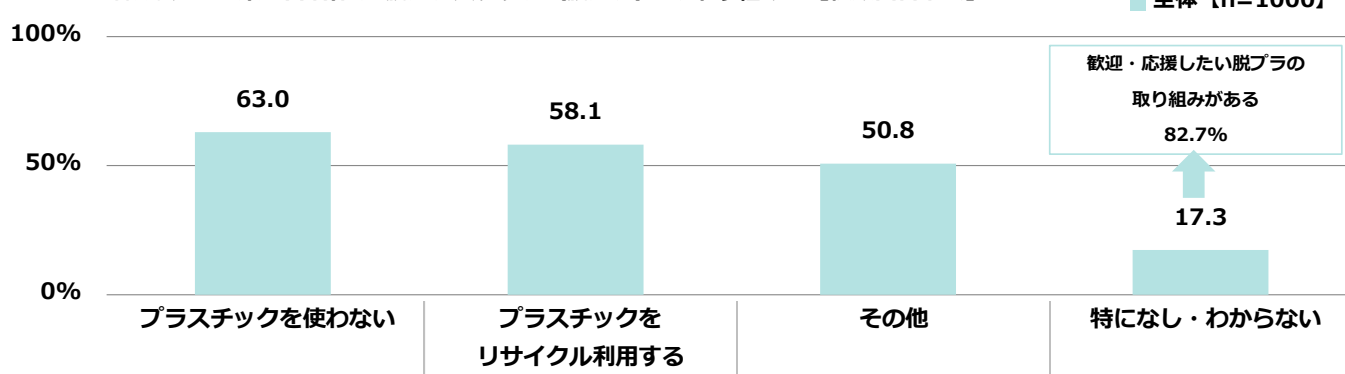
全回答者（1,000名）に、歓迎・応援したい企業・自治体の“脱プラスチック（脱プラ）”の取り組みを聞いたところ、「プラスチック製容器を回収する」（37.5%）が最も高くなり、「プラスチック製容器をリサイクル利用する」（32.9%）が続きました。利用後の容器をリサイクルの循環に乗せるための取り組みに対し好感を持つ人が多いようです。次いで高くなったのは、「容器やパッケージをラベルレスにする」（29.9%）、「プラスチック製レジ袋を廃止する」（26.6%）、「プラスチック製ストローを廃止する」（26.5%）、「海洋プラスチックごみを商品に再生する」（26.4%）、「マイ食器・容器持参による割引サービスを行う」（26.1%）、「使い捨てプラスチック製カップを廃止する」（25.6%）、「プラスチック包装を廃止する」（25.5%）、「プラスチック製容器を廃止する」（21.4%）でした。

歓迎・応援したい企業・自治体の脱プラの取り組みを大分類でみると、【プラスチックを使わない】は63.0%、【プラスチックをリサイクル利用する】は58.1%となり、『歓迎・応援したい脱プラの取り組みがある』は82.7%でした。

■歓迎・応援したい企業・自治体の“脱プラスチック（脱プラ）”の取り組み [複数回答形式] ※上位10位を表示



■歓迎・応援したい企業・自治体の“脱プラスチック（脱プラ）”の取り組み [複数回答形式]



*分類の内訳は次のとおり

【プラスチックを使わない】

製品にプラスチックを使わない/プラスチック製容器を廃止する/プラスチック包装を廃止する/容器やパッケージをラベルレスにする/
 プラスチック製レジ袋を廃止する/プラスチック製ストローを廃止する/使い捨てプラスチック製カップを廃止する

【プラスチックをリサイクル利用する】

プラスチック製容器を回収する/プラスチック製容器をリサイクル利用する/海洋プラスチックごみを店内などの備品に再生する/海洋プラスチックごみを商品に再生する

【その他】

ワンウェイプラスチック（ストローや使い捨てカップなど）を有料化する/食べられる食器の提供を行う/マイ食器・容器持参による割引サービスを行う/

脱プラスチックをテーマにした宿泊プランを用意（プラスチック製のアメニティがない部屋など）する/

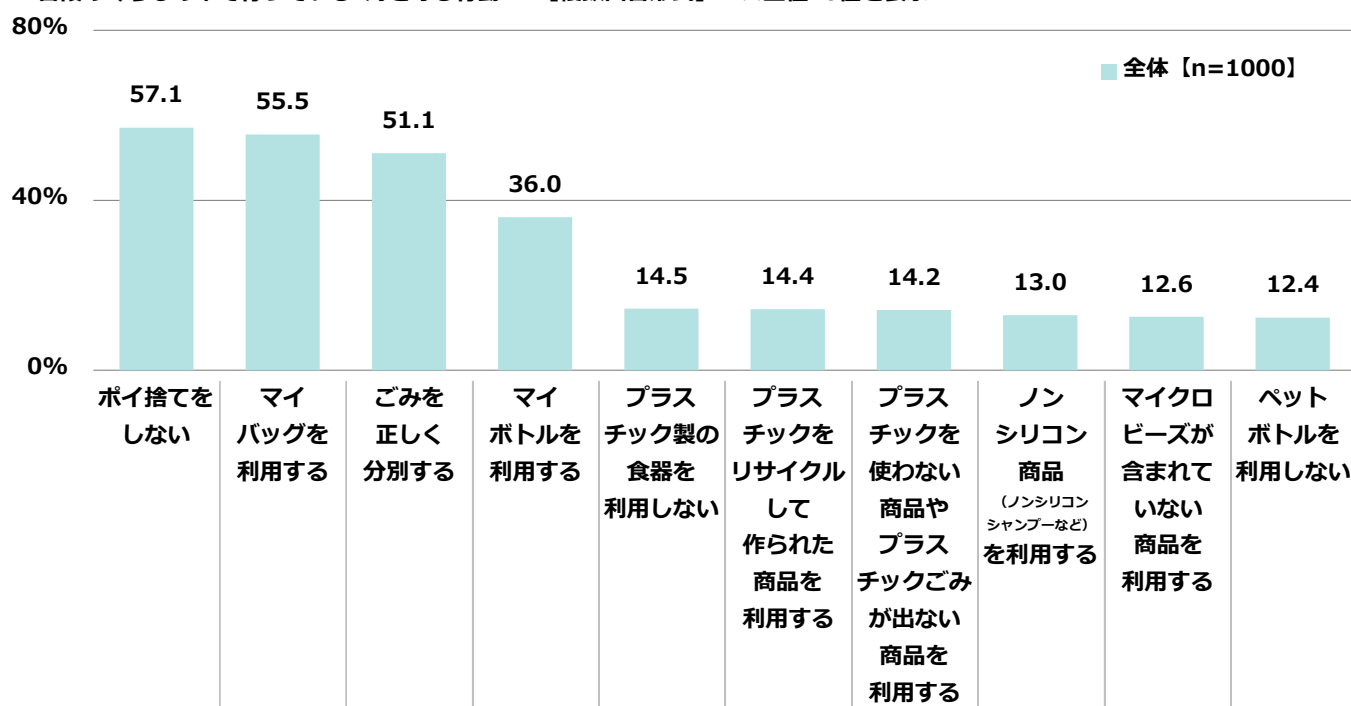
ペットボトル商品を公共エリアや就業環境から排除する/飲料容器をペットボトルからアルミ缶に変更する

- 普段のくらしの中で行っている“海を守る行動” 1位「ポイ捨てをしない」2位「マイバッグを利用する」
- 今後、普段のくらしに取り入れたい“海を守る行動” 「プラスチックを使わない商品やプラスチックごみが出ない商品を利用する」「マイクロビーズが含まれていない商品を利用する」「ノンシリコン商品を利用する」がTOP10にランクイン
- “海を守る行動”として重要度が特に高いと思う行動
4人に1人が「プラスチックを使わない商品やプラスチックごみが出ない商品を利用する」と回答

海の豊かさを守るために取り組む“海を守る行動”について質問しました。

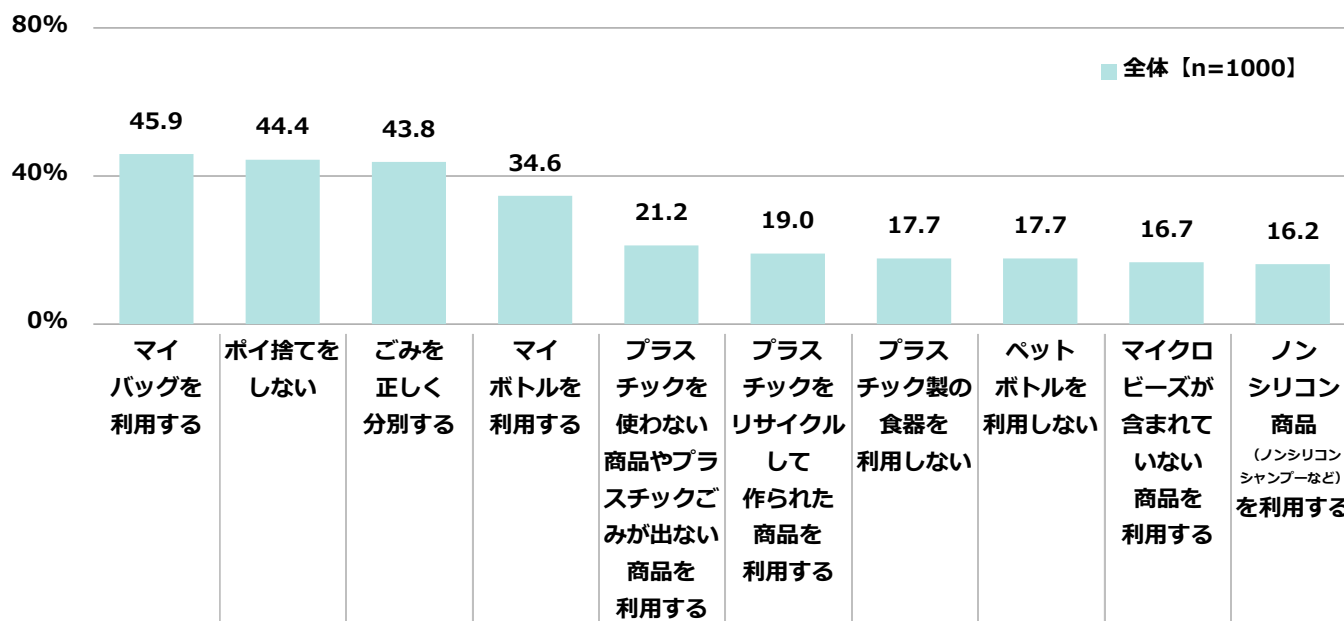
全回答者(1,000名)に、普段のくらしの中で行っている“海を守る行動”を聞いたところ、「ポイ捨てをしない」(57.1%)が最も高くなり、「マイバッグを利用する」(55.5%)、「ごみを正しく分別する」(51.1%)、「マイボトルを利用する」(36.0%)、「プラスチック製の食器を利用しない」(14.5%)、「プラスチックをリサイクルして作られた商品を利用する」(14.4%)、「プラスチックを使わない商品やプラスチックごみが出ない商品を利用する」(14.2%)、「ノンシリコン商品(ノンシリコンシャンプーなど)を利用する」(13.0%)、「マイクロビーズが含まれていない商品を利用する」(12.6%)、「ペットボトルを利用しない」(12.4%)が続きました。

■ 普段のくらしの中で行っている“海を守る行動” [複数回答形式] ※上位10位を表示



今後、普段のくらしに取り入れたい“海を守る行動”を聞いたところ、「マイバッグを利用する」(45.9%)が最も高くなりました。マイバッグを持参しごみを減らすことで、海を守るための力になりたいと考えている人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「ポイ捨てをしない」(44.4%)、「ごみを正しく分別する」(43.8%)、「マイボトルを利用する」(34.6%)、「プラスチックを使わない商品やプラスチックごみが出ない商品を利用する」(21.2%)、「プラスチックをリサイクルして作られた商品を利用する」(19.0%)でした。そのほか、「マイクロビーズが含まれていない商品を利用する」(16.7%)や「ノンシリコン商品(ノンシリコンシャンプーなど)を利用する」(16.2%)など特定の原材料を避けた商品の利用がTOP10にランクインしました。

■今後、普段のくらしに取り入れたい“海を守る行動” [複数回答形式] ※上位10位を表示



また、“海を守る行動”として、重要度が特に高いと思う行動を聞いたところ、「ポイ捨てをしない」(44.0%)が最も高くなり、「ごみを正しく分別する」(36.0%)、「マイバッグを利用する」(29.0%)、「海・海岸でゴミ拾いをする」(25.6%)、「プラスチックを使わない商品やプラスチックごみが出ない商品を利用する」(25.3%)、「マイボトルを利用する」(23.6%)が続きました。

■“海を守る行動”として、重要度が特に高いと思う行動 [複数回答形式] ※上位10位を表示



■“海を守る行動”に関する意識や考え

「修学旅行には“海を守る行動”に関連する教育プログラムを入れてほしい」 6割強

「水族館で学ぶことは“海を守る行動”のきっかけになると思う」 7割半

「サステナブルシーフードを提供する飲食店を応援したい」 7割半

「海を守る取り組みを加速させるにはSDGsテックの進化が欠かせないと思う」 7割半

「政府や自治体には“海を守る行動”をリードしてもらいたいと思う」 8割強

全回答者（1,000名）に、“海を守る行動”に関する意識や考えについて聞いたところ、【修学旅行には“海を守る行動”に関連する教育プログラムを入れてほしい（海の汚染について学ぶ、海・海岸の清掃活動など）】では『そう思う（計）』（「非常に」と「やや」の合計、以下同様）は62.8%となりました。修学旅行の機会を活用し、海洋汚染の実態や海の保全活動などを学ぶことで、“海を守る行動”についての理解が深まると考える人が多いのではないのでしょうか。また、【水族館で学ぶことは“海を守る行動”のきっかけになると思う】では『そう思う（計）』は73.9%となりました。

SDGsに関して、【サステナブルシーフード（※1）を提供する飲食店を応援したい】では『そう思う（計）』は74.0%、【海を守る取り組みを加速させるにはSDGsテック（※2）の進化が欠かせないと思う】では『そう思う（計）』は75.0%となりました。

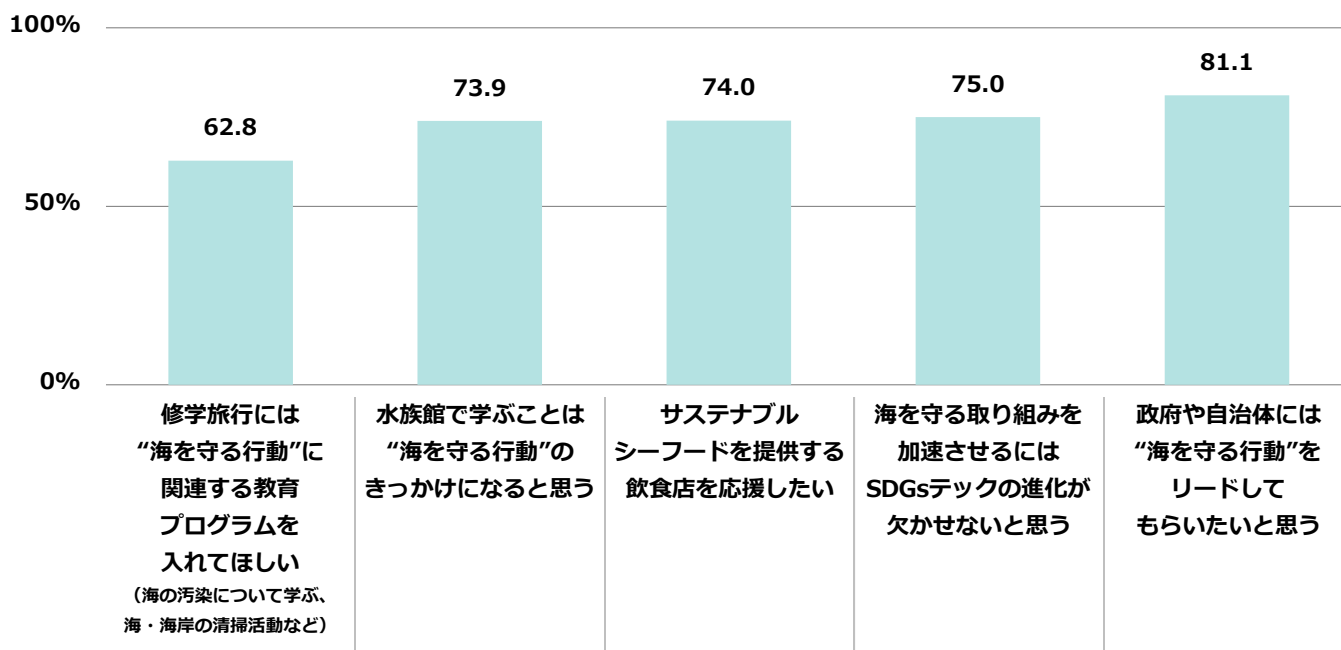
また、【政府や自治体には“海を守る行動”をリードしてもらいたいと思う】では『そう思う（計）』は81.1%となりました。政府や自治体が主導する動きを期待する人は多いようです。

※1 サステナブルシーフード：持続可能な漁業・水産業で獲られたシーフードや、適切に管理された養殖業で育てられたシーフード

※2 SDGsテック：SDGs達成のために使うデジタルテクノロジー（海のごみを回収するロボットなど）

■“海を守る行動”に関する意識や考え 【各単一回答形式】 ※『そう思う（計）』（「非常に」と「やや」の合計）の割合を表示

全体【n=1000】



- “海の恵み”の宝庫だと思う都道府県 「北海道」がダントツ、2位「沖縄県」3位「宮城県」
- “海”をテーマとしたサステナブルツーリズムで行きたい都道府県 1位「沖縄県」2位「北海道」3位「宮城県」
- “海”をテーマとした修学旅行の行き先に適していると思う都道府県 2位「北海道」、1位は？
- 100年後にも残したい、美しい海岸線や美しい浜辺、美しい海水浴場が多いと思う都道府県 1位「沖縄県」
- 美しい海の景色を楽しむ“海デート”で行きたいと思う都道府県 「沖縄県」がダントツ、2位「神奈川県」

全回答者（1,000名）に、海や海の恵みをテーマに、イメージに最も合う都道府県を聞きました。

【“海の恵み”の宝庫だと思う都道府県】では「北海道」（43.2%）がダントツでした。広大な海に囲まれ、海産物にも恵まれている北海道を、“海の恵み”の宝庫だとイメージする人が多いのではないのでしょうか。次いで、2位「沖縄県」（23.4%）、3位「宮城県」（4.2%）、4位「岩手県」「静岡県」（いずれも2.0%）となりました。

■ “海の恵み”の宝庫だと思う都道府県
 [単一回答形式] ※上位10位を表示

全体【n=1000】		%
1位	北海道	43.2
2位	沖縄県	23.4
3位	宮城県	4.2
4位	岩手県	2.0
	静岡県	2.0
6位	長崎県	1.8
7位	千葉県	1.6
8位	秋田県	1.4
	富山県	1.4
10位	青森県	1.1

【“海”をテーマとしたサステナブルツーリズムで行きたい都道府県】では1位「沖縄県」（34.0%）、2位「北海道」（21.4%）、3位「宮城県」（2.6%）、4位「千葉県」「神奈川県」（いずれも2.5%）、【“海”をテーマとした修学旅行の行き先に適していると思う都道府県】では1位「沖縄県」（43.7%）、2位「北海道」（15.9%）、3位「宮城県」（2.7%）、4位「神奈川県」（2.5%）、5位「福島県」「長崎県」（いずれも2.0%）と、観光については沖縄県が二冠となりました。

■ “海”をテーマとした
 サステナブルツーリズムで行きたい都道府県
 [単一回答形式] ※上位10位を表示

全体【n=1000】		%
1位	沖縄県	34.0
2位	北海道	21.4
3位	宮城県	2.6
4位	千葉県	2.5
	神奈川県	2.5
6位	茨城県	2.0
7位	福島県	1.9
8位	青森県	1.6
9位	富山県	1.5
	長崎県	1.5

■ “海”をテーマとした
 修学旅行の行き先に適していると思う都道府県
 [単一回答形式] ※上位10位を表示

全体【n=1000】		%
1位	沖縄県	43.7
2位	北海道	15.9
3位	宮城県	2.7
4位	神奈川県	2.5
5位	福島県	2.0
	長崎県	2.0
7位	千葉県	1.9
	静岡県	1.9
9位	岩手県	1.6
10位	富山県	1.4

【100年後にも残したい、美しい海岸線や美しい浜辺、美しい海水浴場が多いと思う都道府県】では、白い砂浜や青い海など美しい海に恵まれた「沖縄県」（47.9%）がダントツでした。次いで、2位「北海道」（9.9%）、3位「宮城県」（3.0%）、4位「神奈川県」（2.4%）、5位「岩手県」（2.1%）となりました。

■ 100年後にも残したい、美しい海岸線や美しい浜辺、
美しい海水浴場が多いと思う都道府県

【単一回答形式】 ※上位10位を表示

全体【n=1000】		%
1位	沖縄県	47.9
2位	北海道	9.9
3位	宮城県	3.0
4位	神奈川県	2.4
5位	岩手県	2.1
6位	千葉県	1.9
7位	静岡県	1.6
	長崎県	1.6
9位	和歌山県	1.5
10位	福島県	1.4

【美しい海の景色を楽しむ“海デート”で行きたいと思う都道府県】では「沖縄県」（45.2%）がダントツとなり、2位「神奈川県」（8.0%）、3位「北海道」（7.8%）、4位「宮城県」「千葉県」「静岡県」（いずれも1.9%）と続きました。

■ 美しい海の景色を楽しむ“海デート”で行きたいと
思う都道府県 【単一回答形式】 ※上位10位を表示

全体【n=1000】		%
1位	沖縄県	45.2
2位	神奈川県	8.0
3位	北海道	7.8
	宮城県	1.9
4位	千葉県	1.9
	静岡県	1.9
7位	長崎県	1.8
8位	兵庫県	1.5
9位	和歌山県	1.1
	秋田県	1.0
10位	東京都	1.0
	福井県	1.0
	鹿児島県	1.0

- “海を守る”リーダーになってほしい芸能人
男性芸能人TOP5は「木村拓哉さん」「さかなクン」「加山雄三さん」「伊藤英明さん」「城島茂さん」、
女性芸能人TOP5は「綾瀬はるかさん」「田中律子さん」「広瀬すずさん」「橋本環奈さん」「石原さとみさん」
- “海を守る”リーダーになってほしいアスリート
男性アスリート1位「大谷翔平さん」、女性アスリート1位「池江璃花子さん」
- “海を守る”リーダーになってほしいアニメ・マンガのキャラクター 「モンキー・D・ルフィ」がダントツ
- “美しい海”の景色を楽しむ“海デート”をしたい芸能人
男性が選ぶ1位「広瀬すずさん」2位「浜辺美波さん」3位「新垣結衣さん」、
女性が選ぶ1位「木村拓哉さん」2位「佐藤健さん」3位「目黒蓮さん」
- “美しい海”の景色を楽しむ“海デート”をしたいアニメ・マンガのキャラクター
男性が選ぶ1位「ナミ」、女性が選ぶ1位「モンキー・D・ルフィ」
- “海を守る行動”のきっかけになる映画・ドラマ 1位「海猿」2位「ONE PIECE」3位「タイタニック」
10代では「タイタニック」、50代・60代では「ONE PIECE」が1位

全回答者（1,000名）に、“海を守る行動”や“海デート”をテーマに、イメージに合う有名人やキャラクターを聞きました。

【“海を守る”リーダーになってほしい男性芸能人】では1位「木村拓哉さん」（86名）、2位「さかなクン」（49名）、3位「加山雄三さん」（45名）、4位「伊藤英明さん」（28名）、5位「城島茂さん」（24名）、【“海を守る”リーダーになってほしい女性芸能人】では1位「綾瀬はるかさん」（31名）、2位「田中律子さん」（17名）、3位「広瀬すずさん」（15名）、4位「橋本環奈さん」「石原さとみさん」（いずれも13名）となりました。

■ “海を守る”リーダーになってほしい男性芸能人

[自由回答形式] ※上位10位を表示

	全体【n=1000】	名
1位	木村拓哉	86
2位	さかなクン	49
3位	加山雄三	45
4位	伊藤英明	28
5位	城島茂	24
6位	桑田佳祐	19
7位	武井壮	12
	なかやまきんに君 /	
8位	阿部寛 / 松岡修造 / 反町隆史	10

■ “海を守る”リーダーになってほしい女性芸能人

[自由回答形式] ※上位10位を表示

	全体【n=1000】	名
1位	綾瀬はるか	31
2位	田中律子	17
3位	広瀬すず	15
4位	橋本環奈	13
	石原さとみ	13
	イモトアヤコ	12
6位	フワちゃん	12
	新垣結衣	12
9位	工藤静香	11
10位	菜々緒	10

【“海を守る”リーダーになってほしい男性アスリート】では1位「大谷翔平さん」（125名）、2位「北島康介さん」（87名）、3位「羽生結弦さん」（40名）、4位「イチローさん」（20名）、5位「五十嵐カノアさん」「松岡修造さん」（いずれも14名）、【“海を守る”リーダーになってほしい女性アスリート】では1位「池江璃花子さん」（83名）、2位「浅田真央さん」（52名）、3位「吉田沙保里さん」（50名）、4位「高橋尚子さん」（21名）、5位「大坂なおみさん」（18名）となりました。

■“海を守る”リーダーになってほしい男性アスリート (引退した人含む)

【自由回答形式】 ※上位10位を表示

	全体【n=1000】	名
1位	大谷翔平	125
2位	北島康介	87
3位	羽生結弦	40
4位	イチロー	20
5位	五十嵐カノア	14
	松岡修造	14
7位	室伏広治	9
	武井壮	9
9位	水谷隼	8
10位	瀬戸大也 / 本田圭佑	7

■“海を守る”リーダーになってほしい女性アスリート (引退した人含む)

【自由回答形式】 ※上位10位を表示

	全体【n=1000】	名
1位	池江璃花子	83
2位	浅田真央	52
3位	吉田沙保里	50
4位	高橋尚子	21
5位	大坂なおみ	18
6位	浅尾美和	16
7位	本田真凜	14
8位	高梨沙羅	10
9位	浜口京子	8
10位	石川佳純	7

【“海を守る”リーダーになってほしいアニメ・マンガのキャラクター】では「モンキー・D・ルフィ（ONE PIECE）」（184名）がダントツとなり、2位「ドラえもん（ドラえもん）」（73名）、3位「トリトン（海のトリトン）」（40名）、4位「アンパンマン（それいけ！アンパンマン）」（20名）、5位「江戸川コナン（名探偵コナン）」（15名）と続きました。

■“海を守る”リーダーになってほしい

アニメ・マンガのキャラクター 【自由回答形式】

※上位10位を表示

	全体【n=1000】	名
1位	モンキー・D・ルフィ <small>(ONE PIECE)</small>	184
2位	ドラえもん <small>(ドラえもん)</small>	73
3位	トリトン <small>(海のトリトン)</small>	40
4位	アンパンマン <small>(それいけ！アンパンマン)</small>	20
5位	江戸川コナン <small>(名探偵コナン)</small>	15
6位	龍門炭治郎 <small>(鬼滅の刃)</small>	13
7位	アリエル <small>(リトル・マーメイド)</small>	11
8位	孫悟空 <small>(ドラゴンボール)</small>	10
9位	フグ田サザエ <small>(サザエさん)</small>	7
	ポセイドン <small>(聖闘士星矢など)</small>	7

【“美しい海”の景色を楽しむ“海デート”をしたい芸能人】を聞いたところ、男性回答では1位「広瀬すずさん」(17名)、2位「浜辺美波さん」(15名)、3位「新垣結衣さん」(11名)、4位「綾瀬はるかさん」「北川景子さん」(いずれも9名)、女性回答では1位「木村拓哉さん」(28名)、2位「佐藤健さん」(15名)、3位「目黒蓮さん」(11名)、4位「平野紫耀さん」(10名)、5位「吉沢亮さん」「反町隆史さん」(いずれも6名)となりました。

■“美しい海”の景色を楽しむ“海デート”をしたい芸能人 【自由回答形式】 ※各上位10位を表示

男性【n=500】			女性【n=500】		
順位	名前	名	順位	名前	名
1位	広瀬すず	17	1位	木村拓哉	28
2位	浜辺美波	15	2位	佐藤健	15
3位	新垣結衣	11	3位	目黒蓮	11
4位	綾瀬はるか	9	4位	平野紫耀	10
	北川景子	9	5位	吉沢亮	6
6位	橋本環奈	8	7位	反町隆史	6
7位	吉岡里帆	7	8位	ディーン・フジオカ	5
8位	今田美桜	6		横浜流星	4
9位	長澤まさみ	5	山崎賢人	4	
	有村架純	5	松坂桃李	4	

【“美しい海”の景色を楽しむ“海デート”をしたいアニメ・マンガのキャラクター】を聞いたところ、男性回答では1位「ナミ (ONE PIECE)」(26名)、2位「峰不二子 (ルパン三世)」(7名)、3位「ラム (うる星やつら)」(6名)、4位「フグ田サザエ (サザエさん)」 「源静香 (ドラえもん)」(いずれも5名)、女性回答では1位「モンキー・D・ルフィ (ONE PIECE)」(24名)、2位「江戸川コナン (名探偵コナン)」(14名)、3位「ドラえもん (ドラえもん)」(10名)、4位「竈門炭治郎 (鬼滅の刃)」(7名)、5位「トリトン (海のトリトン)」 「ロロノア・ゾロ (ONE PIECE)」(いずれも6名)と、男性回答・女性回答とも『ONE PIECE』のキャラクターが1位でした。

■“美しい海”の景色を楽しむ“海デート”をしたいアニメ・マンガのキャラクター 【自由回答形式】

※各上位5位を表示

男性【n=500】			女性【n=500】		
順位	名前	名	順位	名前	名
1位	ナミ (ONE PIECE)	26	1位	モンキー・D・ルフィ (ONE PIECE)	24
2位	峰不二子 (ルパン三世)	7	2位	江戸川コナン (名探偵コナン)	14
3位	ラム (うる星やつら)	6	3位	ドラえもん (ドラえもん)	10
4位	フグ田サザエ (サザエさん)	5	4位	竈門炭治郎 (鬼滅の刃)	7
	源静香 (ドラえもん)	5	5位	トリトン (海のトリトン)	6
				ロロノア・ゾロ (ONE PIECE)	6

最後に、“海を守る行動”のきっかけになる映画（洋画・アニメ映画を含む）またはドラマのタイトルを聞いたところ、1位「海猿」（77名）、2位「ONE PIECE」（50名）、3位「タイタニック」（33名）、4位「ドラえもん」（19名）、5位「崖の上のポニョ」（15名）となりました。

年代別にみると、1位に挙がったのは、10代では「タイタニック」（6名）、20代・30代・40代では「海猿」（20代16名、30代26名、40代15名）、50代では「ONE PIECE」と「海猿」（いずれも10名）、60代では「ONE PIECE」（9名）でした。

■“海を守る行動”のきっかけになる映画（洋画・アニメ映画を含む）またはドラマのタイトル 【自由回答形式】

※全体は上位10位、年代別は上位3位を表示

全体【n=1000】		名
1位	海猿	77
2位	ONE PIECE	50
3位	タイタニック	33
4位	ドラえもん	19
5位	崖の上のポニョ	15
6位	ファインディング・ニモ	14
7位	アバター	11
	グラン・ブルー	9
8位	ジョーズ	9
	リトル・マーメイド	9

10代【n=166】		名
1位	タイタニック	6
2位	ドラえもん	5
	ファインディング・ニモ	5

20代【n=166】		名
1位	海猿	16
2位	タイタニック	10
3位	ONE PIECE	8

30代【n=168】		名
1位	海猿	26
2位	ONE PIECE	14
3位	タイタニック	5

40代【n=168】		名
1位	海猿	15
2位	ONE PIECE	6
3位	崖の上のポニョ	5

50代【n=166】		名
1位	ONE PIECE	10
	海猿	10
3位	タイタニック	6

60代【n=166】		名
1位	ONE PIECE	9
2位	海猿	7
3位	ドラえもん	6

About ethicame

地球と人に優しいライフスタイルショップ、ethicame(エシカミー)

“ethicame”の名前の由来は、「エシカル (ethical) な私 (me)」。

サステナブルな商品を通して、地球と一緒に暮らす動物や植物の環境を壊さないライフスタイルを提案しています。

私たちの生活も豊かになり、地球環境もより豊かになる。

そんな想いを通して、皆さんと一緒に地球と共存していく未来を目指します。



<https://ethicame.com/>

TEL: 0120-17-1543
平日 10:00 - 17:00



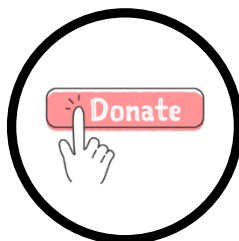
The ethicame Standard

- エシカミーで扱う商品の基準 -



動物実験を行わない

いかなる動物であっても実験対象になる必要はありません。動物実験をした化粧品は取り扱いません。



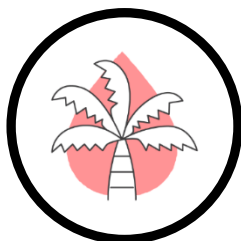
環境へのサポート

売上の一部を社会・環境問題を解決する小さな草の根運動のNPOやNGOに寄付をします。



限りなくゴミを減らす取り組み

プラスチックの代替となる生分解性素材やCO2排出の少ない材料を使った製品を優先して取り扱います。



パーム油不使用

環境配慮をしているパーム油 (RSPO会員からの供給のみ) 例外として取り扱います。



自然に優しい製品

独自の Dirty list※(扱わない成分一覧)を元に製品を選定し扱います。

※ 動物由来成分 (蜂、カルミン、ラノリンを除く) / アルミニウムクロロハイドレート / ブチルヒドキシアニソール / ブチルヒドロキシトルエン / プトキシエタノール / ケミカルサンスクリーン / エチレンジアミン四酢酸 / エタノールアミン / エトキシレート系原料 / ホルムアルデヒド / 人口香料 / ヒドロキノン / 水銀および水銀混合物 / メチルセロソルブまたは2-メトキシエタノール / メチルイソシアゾリノン / ナノ化粧品 / パラベン / ペトローラタムおよびパラフィン、ワセリン / フタル酸エステル / プロパノール / レゾルシノール / トルエン / トリクロサン及びトリクロロカルバン

「調査概要」

調査タイトル : 海を守る行動に関する調査2023
調査対象 : ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
 15歳～69歳の男女
調査地域 : 全国
調査方法 : インターネット調査
調査期間 : 2023年3月7日～3月8日の2日間
有効回答数 : 1,000サンプル

(内訳) 年代・男女によりほぼ均等割付

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
男性	83	83	84	84	83	83	500
女性	83	83	84	84	83	83	500

実施機関 : ネットエイジア株式会社

報道関係の皆様へ

本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
 「エシカミー調べ」と付記のうえご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

本ニュースリリースに関する報道関係者のお問い合わせ先

株式会社ピー・エス・インターナショナル 担当：渡邊愛子、豊田勇輝

TEL : 03-5484-3481 E-mail : press@ps-intl.co.jp

会社概要

会社名 : 株式会社 ピー・エス・インターナショナル
本社所在地 : 〒108-0023 東京都港区芝浦 3-14-6 バリュー芝浦ビル 5F
代表者 : 代表取締役会長兼 CEO 浜口 直太、代表取締役社長兼 COO 北川 睦子
創業 : 1988年11月28日
URL : <https://www.ps-intl.co.jp/>
事業内容 : 化粧品・日用品・サプリメントの輸入、製造、卸および販売
 エステティックサロン(美腸エステ®「ジニー®」)経営
 技術者(エステティシャン)・販売員の教育指導および講座運営
 美容(ネイル、まつエク、アロマ、カラーリング、サロン運営等)スクール
 (通学・通信・オンライン) 経営